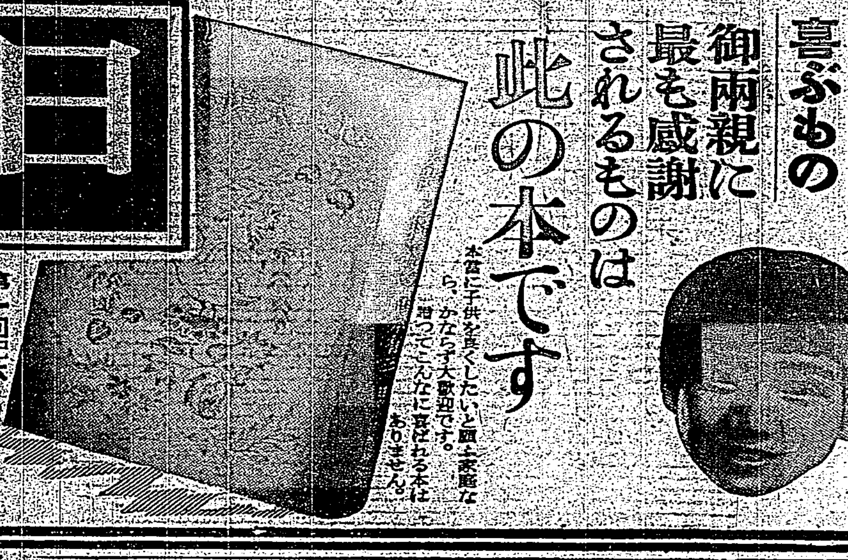
臺灣日日新報
本社 臺北市榮町 發行所 臺灣日日新報社

お正月のお子さんの讀物に！

少年少女諸君が最も喜ぶもの
御兩親に最も感謝されるものは
此の本です

本當に子供を良くしたいと願ふ家庭なら、かならず大歡迎です。却つてこんなに喜ばれる本はありません。



第一回配本 山本有三著
心に太陽を持て
胸に響く話廿篇
少年少女の氣品を高め人物を作る素晴しい讀物です。
好評 四十三版！

第二回配本 廣瀨基著
發明物語と科學手工
電燈、寫眞、汽車、汽船、ラヂオ其他の發明物語と面白い科學手工のいろいろ、これこそ眞に面白くて爲になる本です。

雜誌と書籍の中間をゆく新編輯——新型四六判特製函入
一冊一圓

山本有三先生總編輯
全十六卷
日本少國民文庫

東京 新潮社 發行

美味滋養・品質第一
蜂ブドー酒

賀正

初春の
御慶と
皆様の
御健康
を蜂の
一杯で

發賣元 近藤利兵衛商店　釀造元 神谷傳兵衛本店

ビスコ

おいしくて強くなる
酵母菓子

おやつに、食後に最もよろしくコーヒ又はお茶の友として風味格別と高評です

十錢

(東京・大阪)グリコ株式會社

賀正

新聞廣告　火災保險

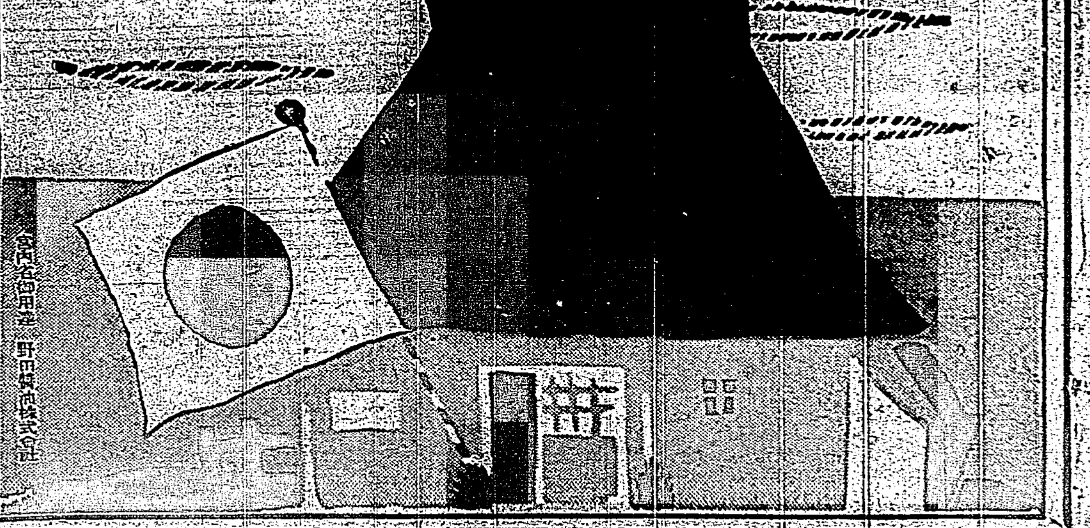
株式會社
萬年社
東京 大阪 京都

二日酔に 登山 乗車に
はれやかで遲刻をしない二日酔
三十錢 五十錢 一圓

室と健福堂 印刷製

賀正

キッコーマンの
香りで明ける
我が家の春



キッコーマン醬油

宮内省御用達 野田醬油株式會社

昭和十一年一月一日ヨリ第二十一回定時株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止候也
昭和十年十二月三十一日
高砂麥酒株式會社

大阪商船 臺灣出帆
(基隆出帆)
神戸門司行 瑞穗丸 高千穗丸 [illegible]
福州上海行 盛京丸 長沙丸 [illegible]
厦門・香港行 [illegible]丸 東山丸 [illegible]
福州厦門行 鳳山丸 大球丸 [illegible]
大連天津行 中華丸 大華丸 [illegible]
鹿児島・長崎 博多・北部行 河南丸 廈運丸 [illegible]
沖繩行 開城丸 湖南丸 [illegible]
蘇澳・花蓮港 新港・台東行 めでり丸 とい丸 [illegible]
高雄・廈門 比律賓行 まかご丸 がんぢす丸 [illegible]
西貢盤谷行 はたびや丸
タワオ爪哇行 ばなま丸
(南洋海運)
(高雄出帆)
馬公行 豐賤丸 [illegible]
以下毎奇數日即十時發
廈門汕頭香港行 (福建丸) [illegible]
東京直行 屏東丸 [illegible]
其他船便多數あり 電北電二八五〇

近海郵船 基隆 出帆
門司・神戸行
朝日丸 一月六日後四時半發
吉野丸 一月十日後四時半發
大和丸 一月十五日後四時半發
大連 天津行
岐阜丸 一月十三日午後

辰馬汽船 出帆
西・那・石行
桃葉丸 一月上旬

大連汽船 基隆出帆
大連 直行
山東丸 一月六日後五時發
山西丸 一月十七日後五時發
[illegible]
代理店 [illegible]

父鈴木惣太郎儀腦溢血にて一月二日午前一時死去致候間此段生前辱知各位に謹告仕候
追而葬儀は一月四日午後二時[illegible]葬儀堂に於て相營可申候
昭和十一年一月三日
臺北市本町四ノ三
男 鈴木 登
同 鈴木春雄
親戚 西田力松
同 石野四郎
親戚代表 矢部久作
友人 武部三郎
同 中井八嘉造
友人代表 本庄幸一

拙息雄六儀豫テ臺北醫院ニ入院加療中ノ處三十一日午前九時卅分死去致候間此段謹告仕候也
追而葬儀ハ[illegible]
昭和十一年一月三日
臺北市東門町[illegible]
父 眞倉治
兄 眞倉民三
親戚代表 上原計雄
友人 高橋繁人
同 中[illegible]秀二
友人代表 太田銀鉄[illegible]

廣告は宣傳の近道なり

セキトメ。
ボンボン
ノドの用心 セキの用心

宮中拜賀式

[illegible]午前八時朝れの御儀に寄せら れ後同十時から宮中正殿に出御、[illegible]從二位、勳一等以下從四位並に同夫人及び勳一、二、三等、外國人同夫人の拜賀を受けさせられ[illegible]、[illegible]高等官、從六位以上並に奏任待遇の[illegible]、門[illegible]院の[illegible]、[illegible]屬外國人勳四、五、六等外國人の拜賀を受けさせられたが午後一時から同四時までの間に正七位以下從八位以上勳六、七等、勳七、八等並に委任待遇の參賀を受けさせられた

臺中の交禮會

【臺中電話】臺中市官民合同新年交禮會は一日午前十時より市公會堂にて開催[illegible]知事[illegible]方法[illegible]

新年祝賀會

【臺南電話】臺南市官民の新年祝賀會は一日午前十時から公會堂[illegible]にて開催されたがこの日朝[illegible]風[illegible]正月らしい天候今川知事以下官民多數出席[illegible]開會を宣し君ヶ代合唱[illegible]市尹の祝辭[illegible]に次いで君ヶ代合唱、藤田市尹の祝辭、祝杯をあげて知事の發聲にて聖壽の萬歳三唱[illegible]十時四十分散會した

花蓮港交禮會

【花蓮港電話】花蓮港街の新年交禮會は一日午前十時昭和記念館にて開催官民五百餘名出席一同國歌合唱後[illegible]街長開會の辭を述べ[illegible]郡守[illegible]郡長の[illegible]にて天皇陛下の萬歲を三唱した[illegible]

高雄の新年

【高雄電話】高雄の元旦は一天雲なき[illegible]天候であつた午前六時官民一千餘名高雄神社社頭に集合して初日の出を拜し君ヶ代を合唱して解散したが同八時半には州廳市役所始め各官衙學校等一齊に拜賀式を擧行同十時よりは吉例による官民合同新年交禮會が第一小學校講堂に於て開催内海知事、松尾市尹を始め各官衙學校團體長及び官民千五百名參列し定刻一同著席國歌の[illegible]に次で松尾市尹の式辭あつて內海知事の發聲にて天皇陛下の萬歲を唱和し同十一時過ぎ盛會裡に散會したが市內は終日歡樂の行人絡繹たる如く祝賀氣分横溢した

新年宴

ロンドンで 軍縮全權團が

【ロンドン一日發電通】我全權團を中心とせる新年祝賀式は一日午前十時より駐英大使官邸において永野大將以下全權團、大使館員、在留邦人有力者等百餘名參集して御眞影を拜した後[illegible]式は祝賀挨拶後[illegible]があつて一同正月氣分に浸り最後に藤井代理大使の發聲で天皇陛下萬歲を三唱芽出たく終了した同永野大將以下陸海軍人は正午より日本人會で行はれた陸海軍關係者の新年宴會に出席した

五百米の上空で さらば！臺灣島よ

大手柄の鳩クン(臺日號)が 「かりがね」から第一報を齎す

「かりがね」號上より傳書鳩「臺日」號に託して盛大なる御見送を深謝致します。臺灣內地間定期航空第一便に最初の旅客として福岡に向ふ光榮と歡喜に雄躍して居ります發動機の調子は極めて良好。只今高度は五百米。鳩君もなかく元氣、旅客機上からの傳書鳩通信はこれが我國で嚆矢です。これから進路を海岸傳ひに北東にとり富貴角から東行します。本島を離れるに際し機上より本紙讀者各位に敬意を表します。

淡水上空にて大竹記者發

(寫眞は本社に歸つた殊勳の鳩クンと通信紙)

航空南進を祝す

河村本社社長から メッセージを贈る

[illegible]內臺航空初便に際し本社よりは次の如きメッセージを大竹記者に託し左記の六氏へ贈つた

九州日報社長 森田 久氏
福岡日日新聞社長 永江 眞郷氏
福岡市長 久世 庸夫氏
福岡縣知事 飯山 四男夫氏
沖縄縣知事 蔵重 久氏
那覇市長 金城 紀光氏
琉球新報社長 太田 朝敷氏

メッセージ

東京日本航空輸送會社 原 邦造氏

記念すべき臺灣內地間定期航空の正式開始に際し上り第一便機かりがね號に乘客として搭乘の本社員大竹文輔君に託して遙かに深甚なる敬意を表し候本航空は臺灣內地間相互の距離の短縮と文化の向上に資するのみならず國防上にも多大の貢獻をなす交通連絡に一新紀元を劃するものと確信致候

此交通上の新文化機關が今後社會大衆の幸福と利益とのため充分に役立つこと並に之が我臺灣を基地とする帝國の航空南進に一大劃期なり貢獻の實の擧らんことを祈念して已まず此機會に航空日本建設のため更に一段の御努力を願上候茲に重ねて深甚なる敬意を表し度如斯御座候敬具

昭和十一年一月一日

臺灣日日新報社長 河村 徹

難航だつたが 無事に那覇著

快晴なら羽化登仙の思ひ

【二日那覇本社特置員發】內臺航空路正式開始に寄り旅客一番乘りとして一日朝九時臺北出發大竹本社記者の乘れる飛機は途中惡氣流に惱まされたが豫定通り午後三時四十七分那覇飛行場へ到著した

乘客一同元氣にて大竹本社記者は記念訪問をなした後元氣よく語る 向ひ風で相當難航したが何しろ一番乘と云ふ名譽にかけて頑張り通したが平穩なら羽化登仙の心持であつたらうと思ふ[illegible]

福岡に安著

【福岡二日發】二日午[illegible]那覇を[illegible]に向つた日本航空[illegible]

初上り 下りは二日

那覇から

【那覇一日發本社特電】內臺連絡飛行那覇上り初便は今朝七時十九分乘客二名と多數の郵便物とを搭せ春雨けぶる那覇飛行場發福岡へ向つた同二日の下り初便に對し藏重沖繩縣知事、金城那覇市長は特に臺灣日日新報社宛のメッセージを託した

「かりがね」號(加賀飛行士操縱)は恰も內臺旅客輸送の先驅的飛行の如く二日午後零時三十分福岡飛行場に到著した

須磨總領事 入京

【東京二十一日發】最近の日支關係につき重要報告を行ふため歸朝した南京總領事須磨彌吉郎氏は三十一日午後三時二十五分東京驛著富士號で入京した、同氏は來る四日廣田外相と會見し最近の日支問題に關し報告の上、廣田外相に對して[illegible]行政院長改組後の國民政府の對日外交方針北支問題に關する國民政府の態度等に付き詳細なる報告を行ひ[illegible]あるが[illegible]

初日麗かな島都 新春を壽ほぐ

官民千六百餘名一堂に會し 新年交禮會を開催

瑞雲棚曳く昭和十一年の臺北市新年交禮會は一日午前十時から鐵道ホテルに於て中川總督、鷹川軍司令官をはじめ文武官民千六百餘名參列の上盛大に擧行された式は奏樂裡に平岡助役の開會の辭を以て始められ松岡市尹起つてマイクを前に別項の年頭の辭を述べたる後全臺北市民の名に於て倫敦に活躍中の永野、永井兩軍縮全權に對して感謝の電報を發せん事を一同に諮り滿場の拍手を以て別項の電報を發する事になつた、續いて乾杯、宴を終つて一同君が代を合唱し、中川總督の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱一同唱和し同四十分散會した、此日島都に夜來の雨もからりと霽れ曙からすがすがしい好のお正月日和であつた

式辭

[illegible]

十一月廿八日第二皇子義宮正仁親王殿下御降誕あらせられ國を擧げての奉祝は更なり九重至深き邊りの御悅びはさこそと拜せられます、殊に最近の皇室には御慶び事の數々重なり 照宮內親王殿下御著袴の御儀、 澄宮殿下の御成年式、照宮內親王殿下の御義宮殿下の御誕生日と御祝の日が相ぎまして 臺灣は大内山に極見る昭和の御代の春は實に萬歲で あります[illegible]各階層に赴きつゝありますとるには國民として[illegible]なる發展に[illegible]

此の榮光に國く年頭に際して[illegible]昭和十年は[illegible]世界各國に[illegible]多事多難非常時[illegible]

押迫つて倫敦に於て開催せられたる軍縮會議は國際平和の前途に大なる波紋を畫きつゝあるのみならず歐洲の風雲、極東の危機は如何に我が國へと波及するや圖り難く、非常時日本は恰も颱風帶の無風帶の如く小康を得つゝありますけれども國防の充實と國民精神の緊張とは一日も之を緩くするを得ないのであります、此の重大なる國民の使命は寧ろ今後殊に昭和十一年にあると思考せらるゝのであります

翻つて本島に就て見まするに今や始政四十有一年、此の間各般の施設は官民一致傳統的島是の實現に向つて發展的發展を遂げたる始政四十周年記念博覽會は昨秋五旬に亘り開催せられ[illegible]多大の成果を收め[illegible]

[illegible]

來年度の豫算 空前の巨額

平塚長官歸任談

去月二日上京して丁度新年の二日に歸つた譯である、先づここで新年お目出とうと云はねばなるまい、上京の目的は御承知の通り昭和十一年度豫算と臺灣拓殖會社に關する說明交涉の爲めであつた、十一年度豫算の總額は一億三千三百五十九萬圓で、本年度と比較し千三百餘萬圓の增額であり、又新規事業につい て見ても三千七百餘萬圓增額の總額にて新規事業にて[illegible]地方[illegible]ものなさんが爲めに增額を見た譯で喜びにたへぬ、新事業中養殖神社の社殿改修並に境內擴張準備費を始め最も留意した點は昨年夏以來總督府で樹立した所の事業計畫の實現と云ふ事であつた即ち國民精神作興の爲め初等教育國語普及等の補助を增額工業振興、特殊產業獎勵、水產業獎勵の意味に於ける發電水力の調查纖維工業の助成[illegible]田開發獎勵費の增額、水產試驗所新設、水產指導獎勵費等の計上をなし山地開發についても取りあへず四ヶ年計畫で大規模に調查をなす事とし、其他交通治水施設としては臺北バンコック間航空路の開設、一周道路開鑿の費の新店縱貫道路、頭失灘の改修等相當大きなものが承認されたのである、熱帶產業調查會の答申に基き熱帶產業調查會を設立する外臺北高雄に貿易事務所を置き上海には商品陳列所を設け又南洋各地に[illegible]

豫算は始政四十周年を記念とし て將來如何に施設經營に力めるかと云ふ事につき六月中旬府評議會に、又十月下旬熱帶產業[illegible]

臺灣神社初詣で

約二萬人に上る盛況

昭和十一年の光輝ある新春を迎へ島都臺灣神社の初詣では大晦夜もほ降る雨にも拘らず大へんな賑ひだつた、三十一日夜十一時を過ぎる頃から或はハイヤーで臨時の市バスで中には傘さし步いて一番詣では我こそと押し寄せ、押し寄せ十二時前には社殿に[illegible]一杯混雜れてゐる正十二時參拜合圖の大太鼓がドンドンと夜氣を響き渡れば詣での初鈴は鳴り交ぎから次へと參詣人の人波が神社境內を埋め時の過ぐると共に勅使街道は往きかふ自動車と人足で時ならぬ雜沓を呈しまだ明けやらぬ早朝石垣警務局長がニコく顏にて參拜明けて森田守備隊司令官、小濱內務局長等官民では三好、吉賀、谷口の諸氏等何時にない朗かな面持ちで神前年頭の參賀をなし夜明け四時過ぎ頃からは雨も止み明けるとともに嬉しや春陽さへ覗いて晴れ！參詣人は元日午後五時頃まで引つ切りなしに圓山へ圓山へと足を運び東西の外の大鳥居をくぐる參詣人總數は約二萬人に達した由である

公定步合引下げ

【パリ三十一日發聯合】フランス國立銀行は公定割引步合を一分引下げ五分とする旨三十一日發表した

シナチク

昭和十一年島都の元旦は、色々な意味でトテも朗かなものであつた天候は十二月から降りとほし、大晦日も夜まで降つてゐたのに、元朝となつて初日が晴々しく輝き、氣溫も丁度好い具合、ソレに臺北にコビリ付いてた惡氣を潔めてたかの大所高所からの退職旅舍官民の總督新聞の記念もさつぱり手打ちとなり元の明朗臺北市に還元することが出來、元旦の戲酒も一段と酔ひ甲斐あるよく、鐵道ホテルの交禮會も、鐵道官邸の盛宴等も朗かな氣分なかものであつた▲事故の鈴が如何にして元旦に點火されるかに、警務や司法部並に軍部の首腦部諸氏が努められたのであらうてましてゐたが、流石に臨時、役所の大夫[illegible]イテラリと[illegible]長田警察[illegible]れた▲同時に十二月十九日の臺北[illegible]

毒瓦斯使用

【ニース・アベバ一日發電通】エチオピア當局の發表に依れば[illegible]伊國軍はエチオピア軍に對し[illegible]毒瓦斯を使用した[illegible]

お客二名を乘せて はやぶさ號福岡發

航空日本の榮譽を雙翼に 曉雲をついて南へ

【福岡二日發】鹿屋・那覇・臺北間千六百五十キロ我が國最初の航空路的ライン日本最初の國際航空路的水陸に引上げた內臺連絡定期航空は昨年十月八日開始されてより三月郵便物に依る試驗飛行期間を過ぎ愈々旅客輸送も新しい二日より那覇へ旅客輸送が華々しく開始された第一番乘りに就航した下り便は日本空輸のフォッカー七型M八人乘旅客機はやぶさ號は片道料金百十圓をポンと投出して乘つた客は東京通信記者宮本、同兆大矢兩記者其他郵便行航空郵便四百通、那覇行百通

年賀狀百通、小包十五個と永江福日社長から中川臺灣總督に贈るメッセージを乘せ詳細なる點檢の後晴の操縱士惠島飛行士[illegible]通信士[illegible]機關士、森通信士乘込み萬般の準備成り途中佐藤氣象臺からも絕好のコンデイションの報に歡聲湧き午前七時多數の見送人の萬歲裡に勇ましく離陸先づ鹿屋に向つて壯途に就いた

一路那覇へ

【福岡二日發】內臺飛行連絡機は途中風天ながら無風のコンディションに惠まれ鹿屋島鹿屋飛行場で給油の必要も認めず鹿兒島西海岸を快翔し一路那覇に向つた

隼號那覇發

【二日那覇本社特置員發】下り初飛行機隼號は午前十一時四十八分定より約四十分早く飛行場に到著下り一番乘り旅客、合同兩通信記者は夫々通信上の使命を果した後午後一時十七分那覇發臺北へ向つた

萬歲裡に臺北著

福岡から僅か十時間餘で 內臺間を見事連絡

航空日本の國際的進出の第一步として輝やかしくかど出した內臺旅客定期航空の新春初便の一番乘りを承はつた日本空輸會社の「はやぶさ」號は二日午後零時十四分(臺灣時間)那覇發一路臺北へと向つたが、折柄の惡天候に可成り惱まされたが、定時四時を過ぐる十分臺北飛行場の西方淡水河上空に機影を現はし、鉛色の低く垂れた雨雲の下を悠々旋回飛行を行し

スルくと見事に著陸した、時に午後四時十五分、機が格納庫直前にピタと停止すると、客席のドアを押し開けて、初乘りの幸運兒同盟通信社記者の大屋久壽雄君、宮本通信社記者の宮本秀夫君の兩君が元氣な顏で旅裝も輕やかに飛び降り、豐島機長以下三名の搭乘者が續き出迎への服部航空係長、佐倉航空官、各社の新聞記者等と挨拶を交はし、本社よりの花束贈呈[illegible]

を歡迎し、初飛行の成功を祝し一同乾杯した、同初乘りの旅客、官本、大屋の兩氏は交々語る

東京を發つてから沖繩迄は絕好の天候で、愉快な空の旅を續けましたが、那覇を出發してから十分とたゝぬ內に惡天候に襲はれて、眞暗で何も見えない中を可成り激しく搖られましたが、無事臺北に著いて初乘りの使命を果し得た事を喜んで居ります

新春の第一船

朝日丸が初入港

平塚總務長官、藤沼庄平氏等 名士多數を乘せて

【基隆電話】新春第一船の郵船朝日丸は平塚總務長官、岡田財務局長、川村警務局事務官、高橋文書課長、殖產局市川技師と總督府關係を始め貴族院議員、前臺北州知事藤沼庄平、同夫人、臺大教授石坂莊作、同議員荒木正次郎の諸氏坊谷彥氏、臺銀荒木正次郎の諸氏社長松方正熊、臺銀當 務官天藤一郎、同農業株式會社、[illegible]等總乘客二百十五名を乘せて二日午後零時半ふき降の基隆に入港したが臺北からは小濱內務、石垣警務兩局長、桝山秘書官、江藤殖務

課長、野口知事其他臺北、基隆の官民代表多數本船まで出迎へ平塚長官を中心に一同サロンで安著を祝ふポートワインの杯をあげ正月らしい賑やかな入港風景であつたサロンには名古屋城に形どつた大きなケーキの飾り物もあり船旅の正月をなくさめた出迎への人々との歡談しばし一同午後一時發列車で臺北に向つたが、藤沼庄平氏は石垣局長をつかまへて君達にはサーベルはないのかいと奇問を發して一同を笑はせてゐた

藤沼庄平氏談

議會休會を利用して視察に來たまでで外に何の用事もない要調は頼まれて來たいくと思つてゐた所だし、臺灣の發展した狀況を見るのは非常に爲めになる事だと考へてゐる、來る十五日の船で歸る豫定でそれまで見られる丈け見せて貰ふ、議會の事は何とも判然分らない常識で考へれば解散するか總辭職と見る方が當つてゐるのではなかうか、君達は警視總監と云へば恐い人間のやうに思つてゐたらうがどうだい僕のこのやさしさは……

全權に感謝電

臺北市民の名に於て倫敦の永野、永井兩全權に對し左の如き感謝電報を發した

新年を迎ふるに當り臺北全市民は貴全權を初め日本代表部各位の一方ならぬ苦辛を深謝し今後の御健闘と御安泰を祈り上ぐ

……の下に自治共同の大義綱を堅持し改正制度に依る運用の妙を得て一致協力此等諸事業諸問題の達成解決に努め市勢の發展を圖り現下の非常時局に臨み國體たる資を以て一層邦家の爲に貢獻せられむことを切望して止まざる次第であります聊か所感を述べまして新年の御挨拶と致します

昭和十一年一月一日

臺北市尹 松岡 一衞

島都全市民の名に於て遙ロンドンに於て前嚴寒より活躍中の永野……

剿匪總司令に 李氏を任命

白氏は副司令

【南京三十一日發電通】行政院は三十一日の最後會議で廣西の實權者李宗仁氏を湖南、廣西、貴州盜匪剿匪總司令に白崇禧氏を同副司令に任命した

第參拾五回決算公告

貸借對照表(昭和十年十一月)

資產之部

未拂込株金	[illegible]
地所	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
器具	[illegible]
受取手形	[illegible]
有價證券	[illegible]
貯藏品	[illegible]
原料品	[illegible]
工場仕掛品	[illegible]
製品	[illegible]
假拂金	[illegible]
貸付金	[illegible]
未收入金	[illegible]
購買會因局勘定	[illegible]
株式會社勘定	[illegible]
現金	[illegible]
前期繰越損金	[illegible]
當期損失金	[illegible]
計	[illegible]

負債之部

資本金	[illegible]
決定積立金	[illegible]
職工救濟基金	[illegible]
故前田總裁記念	[illegible]
支拂手形	[illegible]
借入金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
職員保證金	[illegible]
職員別途積立金	[illegible]
假受金	[illegible]
社宅勘定	[illegible]
故普通勘定	[illegible]
計	[illegible]

損益計算書 ……

當期損失金	[illegible]
前期繰越損金	[illegible]
損失金處分	[illegible]
內法定積立金	[illegible]
差引後期繰越損金	[illegible]

日華紡織株式會社

退職取締役武田清次郎、森本將虎當選就任せり

謹賀新年

昨年中は一方ならぬ御引立に預り厚く御禮申上候尙本年も相變らず御最負の程奉願上候

[illegible]

臺北市壽町 藤田商店 店主 藤田 俊男

日本生命保險代理店 帝國火災保險代理店 とりこの總代理店 瓶正宗納入元 ☆達 源商行 本店 宜蘭街 出張所 臺北市京町四ノ三

大統修靈道臺北道場 會長 小山田博輝

賀正 後援會同心

初春のお化粧には 化粧品は專門店の 小間物 西門町市場仲店 池森小間物店

高雄市入船町一ノ一八 土木建築 請負業 宮岡長重郎 電話[illegible]

福引場再開

三十一日御引渴の御客様方のために特に福引場の再開を致しますから御引換を願ひます

◉四日 午前九時より 午前十二時まで 開場

榮町賣出會

急告

皆様の本町では 福引券引換洩れが相當あるため 明四日午前九時より正午まで 本町(貯蓄銀行横)賣出會福引券引換場に於て御引換致します

一月三日 本町賣出會

謹賀新年 屏東市屏東 旅館 山陽ホテル 電話九番

屏東市本町通り 歐米百貨 文具其他 ㋣福美洋品店 董恩賢

賀正 竹山食鹽元賣捌所 加田喜八郎

賀正 臺北市大和町二ノ八 內藤龍平

中食には美人座獨特の五十錢ランチをお薦め致します 新年宴會は如何樣にでも御一報次第御相談に應じます

台北カフヱー美人座

明けまして御目出度ふ存じます 毎度有難たう御座ひます本年も 相變らず御最負の程御願ひ致します

ダンスホール 羽衣會館 電話七四四八番

カフヱー羽衣 電話三一二九番

賀正

建築業 八尾榮一
臺北市末廣町五丁目一番地 電話(一四九四番)

新時代の贈物 流線型クリップ付 高級萬年筆・ヤーペンシル
セーラー萬年筆
臺北市揚山町二丁目 セーラー萬年筆臺灣出張所 電話四〇九五番

臺北市榮町四 阿部吳服店
支店 嘉義市榮町

吳服太物 白生地類 洋反物 美術京染 商
山城屋吳服店
臺北市榮町二丁目二十三番地 電話(六九五・一〇八番)

明治製菓臺北販賣所
臺北明治製菓賣店
明治製菓臺中配給所
明治製菓臺南配給所

臺灣地方酸素共同事務所

和洋雜貨 足袋綿布卸商
奧野常太郎商店
臺北市京町二丁目

漆は齋藤漆に限る
齋藤漆臺灣一手販賣 販賣修繕
上田屋商店
臺北市京町二丁目十八番地

營業種目 內外各種高等食料品
ヤマカ食料品店

江里口商會
臺北市本町二丁目

合資會社 南國公司
臺北州臺北市表町貳丁目拾番地 電話一一四番

諸紙文房具卸商 官衙御用達
江里口利三郎商店
臺北市榮町二丁目 電話五貳九番

株式會社 高進商會
臺北市京町三丁目

御菓子 梅月堂
臺北市榮町三ノ五 電話六四八番

礀海野商店
臺北市榮町一丁目七番地 電話二七二〇、八番

綿布商 星加商行
臺北市太平町二丁目八十一番地 電話一〇六〇番

合資會社 幸野商會
臺北市新起町

九州製菓株式會社臺灣販賣店
菓子問屋 青島商店
臺北市西門町

書籍雜誌 蓄音器 卓上印刷器
文明堂書店
臺北市榮町 電話八三〇番

印舖 文林堂
臺北市京町 電話九五〇番

東屋染物店
臺北市若松町二ノ八

生花 造花 花源
臺北市西門町一丁目五番地 電話四五八番

流行品 祖父江商店
臺北市新起町二ノ二四 電話四八番

洋服商 中村洛陽堂
臺北市榮町

和洋紙 文房具卸商
小川紙商店
臺北市本町二丁目 電話三八七番

臺北京町 川本金物店

特殊食鹽 元賣捌人
柳井伊左衛門
臺北市新富町 電話八七八番

印刷 盛文社
臺北市八甲町 電話八七九番

純良醬油
日本醬油株式會社

臺灣オフセット印刷株式會社
臺北市宮前町

進輪自轉車本店 王初生

小野田セメント 大分セメント 淺野セメント 砂糖麥粉肥料各種
雲榮商會

ミカド 葛西貞二商店

臺北南理髮營業組合

臺北時計商組合

土木建築請負業 堀江組

有限責任 艋舺信用組合
臺北市元園町貳拾壹番地

有限責任 龍江信用組合
臺北州臺北市

臺灣の武道界は躍進又躍進
黑木の武道具は名實共全島一
黑木武道具製造元
臺北市北門町 電話二六七六番

履物卸問屋 田島保五郎商店

臺灣煙草
賣捌人組合臺北支部

谷河梅人　奧村文市　郭廷俊　雄谷雄作　税所重雄　松本邦一郎　雷俊臣　北條熊人　塚本勝　吉良一義　本山直枝　中田正明　岡本賢一

陸軍御指定 官衙特約 菊地順高等洋服店
臺北市新富町五ノ二五 電話三五五二番

脫脂綿製造 鈴木猪三郎商店
臺北市新富町三丁目二十二番地 電話參壹九四番

協志商會 林焜灶
臺北市綠町一丁目三番地

森山木工所
臺北市濱町二 電話參貳六六番

臺灣料理 江山樓
臺北 電話一九五五番 三一六三番

シボレー自動車 柴田自動車商會
臺北市表町 電話長三二三四番

裕民影片公司 代表者 鄭老桂
臺北市永樂町四ノ二八 電話二六七九

貿易商 怡和泰商行
臺北市永樂町四丁目

藥
廣生堂藥舖
藥品一般 新藥一般 著名賣藥 度量衡器 化粧品類 勉强と親切
臺北市 電話九二二番
榮町四丁目 電話一九八九番

納入御指定拜命 諸官衙 諸會社
局方藥品、新藥 有名賣藥 有名漢藥 工業用藥品 滋養強壯劑 歐文和文處方調劑 計量器、酒類 特許販賣 化學用藥品 硝子製品 メッキ藥品 家庭用醫療用器械
御藥ニ關スル御相談ハ 御病氣ニ 親切ニ御相手申上マス
藥劑師 平野文男
ヒラノ藥局
午前一時マデ 店賣 配達 申シテ居マス
臺北市新起町 西門市場入口正面 電話三七八三番 振替四八六八番

胃腸の妙藥 ゲルビー
風の妙藥 ダンダン
臺北 森田信生堂

森永製品臺灣販賣株式會社
臺北本社(臺北市表町)
臺中出張所(臺中市榮町)
嘉義出張所(嘉義市榮町)
高雄出張所(高雄市湊町)
キャンデーストアー(臺北市太平町)

臺北南旅館組合

有限責任 臺北庶民信用組合
臺北州臺北市京町

片倉合名會社臺北出張所
富國火災海上保險株式會社
臺北出張所
臺北市南門町三丁目 電話二一三番

龜甲萬醬油販賣株式會社
本店 臺北市本町三丁目一番地
出張員 臺南市白金町二丁目五十番地

臺北市公設
千歲町食料品小賣市場
公商會員一同

臺北驛運輸組合員一同

臺北市齒科醫師會

臺北菓子商組合

臺灣爆竹煙火株式會社
臺北市河合町一 電話壹參七番

臺灣正米市場組合
臺北市永樂町一丁目二十三番地 電話代表番號一七四〇番

臺灣米穀代行株式會社
電話代表番號一七四〇番

基隆市史の上に光彩を放つ史實

興味多き、同地先住民族

ケタガロンの全盛時代

考古學に深い興味を持ち先住民の遺物を發掘蒐集して郷土館を設した桑原市尹は更に第二段の工作として基隆史蹟の大計畫を樹て近く[illegible]基隆を一層して種々準備を進める事であるが基隆には「ケタガロン族」に依つて大に光彩を添へられるべくケタガロンは基北、桃園の平野並に關渡方面にまで移住してゐるから北部臺灣史上でも有力なる併々重大な興味の多い仕事である有史以前の模様は相傳へられる口碑に依るかまた其の地方に於て發掘される土器、石器等の遺物に依り推測する外ないが最も古いものとしては先年社寮島に於て石坂氏が發見した怪文字の碑由である　尾崎氏說に依れば

支那太古の文字は蝌蚪文字と云はれ虫とも字とも判らぬものと想像されてゐたが今日まで闡明すべき何物もなかつた、然るに今回社寮島で發見された碑は私の想像をして誤りないものとすれば正に三代以前のトカゲ文字でこれで東洋文化の最古の証跡である一部には文字に非ずと否定する者があるが何をもつて文字に非ずと立證する事が出來るかそは貝塚中より發掘されたものであるか海仙に依るものでなく當時貝殼文化に依つて支那大陸を支配してゐた南方民族が文字を解する文化を持つてゐたと云ふ私の說を裏付するものであると

次で四川附近の貝塚より發掘された土器石器は[illegible]彼等が石器や土器を作るに用ゐたものであらう所の砥石は土地の深さなどから三、四千年前のものと推定されてゐる、之は果してケタガロン族の遺物であるか或は外の原始住民の遺したものであるか[illegible]らないが其の時代に人間の棲息して[illegible]に明かであり同地附近には[illegible]或は[illegible]用途不明であつた凡ゆる石器が蹤し發見されてゐる點から[illegible]人間の移入が定住してゐたものと思はれる、右の外全島に至る處の海濱や河岸に近い所ばかりでなく、高山方面にまで各種の石器が發見されてゐるが其の中でも桃園ガオガン社地で發見されたものは約二千年前の遺物と見られ、次で基隆市郊、新竹方面の石器は千年ばかり前のものであるとされ基隆市内の海岸近い所は近年貝塚に依りケタガロン族の使用した食器、裝身具等が掘り出されて現に郷土館には三百二十數點陳列されてゐる、時に逍遙せんとしつゝあるケタガロン族の調やかなりし時代の生活が基隆史の上に多彩な資料を與へてゐる事は疑ふ餘地もない　先住民族の[illegible]る基隆に於ける民間考古學者、考古研究者である石坂氏に語らせてケタガロン族發祥の來歷を聞く事とする、彼等の先祖は先人の言ひ傳や口碑に依ると數千年前から知らぬ大古時代南洋から潮流に乘つて火焼島に漂着した土人がサナサイと呼んで定住してゐたものらしい、其の後天變地異の爲か又は同族繁殖の結果か其の一部が數百年前殘留本土に移住したものらしく渡來の口碑に依ると

我が一族はもと海を隔てた外島サナサイ・ホヨチウと云ふ地に住んでゐたが或る時漁撈の爲小舟に乘つて海に出た所偶々暴風に遭ひ其の内二艘が金包里海岸に漂着したが、荒蕪の地で定住に適せぬ爲基隆地方を物色したがこれ亦水に乏しく某後河口に到航し漸く定住の地を見出したのである、それが現在の番社で當時の漂流者二十餘名キシナサイが頭目となりキサアノワン社を創設したのである

其の後同族多く人口増加して一は雞籠地方に一は臺隆(現在の基隆)地方に一は南仔各地方に分れつて北部臺灣二十三ヶ所に進展移住した譯であり、同族に屬する文獻としては三百二十年前の明史雞籠傳や金山庄林家劉氏が家系を錄と共に保存してゐる、元朝年間與本番社、新社、蚊仔六寮などがあるが其の子孫は社寮島と新社に高齢者二三名を殘すのみとなり、今やケタガロン族は地上から永久に消え去らんとしてゐる、彼等が全盛時代漁作に狩獵に月明の海濱に圓陣を作つて踊り狂つた歌を紹介する事とするが、昭和十一番地の潘氏媼と云ふ七十四の老婆は此の歌曲をよくするのでレコードに取つて置きたいと云はれてゐる

男子の唱ふ歌

(踊)ナウタラ、ワイダラ、アアワエ、アーアヲホ、ワイヘ、アアオホワイヤ、エヘイエ、エヨホー

(文句)ナウタラ、ベシラウ、イサンニヤ(遊に名を)キンナウシーヤナ(遊びませう)ウカバイクーヤワラウ(蒸物もズボも)タブチシユウ、マイヤ(相も無い)マロンゴ、マイヤ(大きい鈴もない)

(終りの踊)ワイタラ、アーアヲホ、ワイヘ、アアオホワイヤ、エヘイエ、エヨホ

女子の唱ふ歌

文句　タラクタアマ(私の父)タラクイナ(私の母)タラクバワンナカイ(私の子)タラククイアイ(私の孫)ベシラウイサンニヤ(遊に名を)キンナウシャナ(一緒に遊びませう)ウカバイクーワラウ(蒸物もズボも)タブチシューマイヤ(相もない)マンゴマイヤ(大きい鈴もない)

(終りの踊)ナウタラ、ワイタラ、アヲワエ、アアオホワイヘ、アアオホワイヤ、エ(ヘイエ、エヨホ

お正月に「なくてならぬ」魚の王様鯛の話

基隆で年に六十萬圓漁れる

お正月の食膳になくてはならぬものは數多いがその中でもピンと尾を張つた魚の王様鯛の姿が見えなかつたとしたらさぞどんなに淋しいものだらうか、鯛は「メデタイ」と通じさせて尾頭付きとして尊ばれる所以のもの、その鯛が基隆近海でウントコサ獲れるのだから基隆の町は他の地方よりもメデタイ土地だと云はれはしないだらうか、で正月に因んで鯛の話を市役所勸業課の井上水產技手にきく

鯛は一名「大位」とも書いて「河魚の鯉」即ち「小位」に相對する魚類の王様、鮮な色彩と品格にとのつた體形によつて人間が王様にしてやつたのださうで「マダイ」「チダイ」「キダイ」「チコダイ」の四種族があるが基隆ちや「々面倒臭い」ので一括してこれを赤鯛と云つてゐる、その中でも數の多い「キダイ」は連子鯛「チコダイ」は[illegible]鯛の俗稱を奉つて魚貝りの呼び名となる　王様だけに古い歷史と種々の口碑を持つてゐるのはあたりまへだちや、その中から一二つを拾つて鯛の偉サを証明する事にしよう

×　×

鯛產卵期に外海から瀬戸内海へ夥しい鯛群が殺到するが漁業者はこれを俗に「鯛の若やぎ詣り」と稱し固く信じて疑はない、鯛王身の終業の宮に參詣にのつてあたかな御利益をうけに[illegible]平神社へはる〴〵と參詣するのである、さうな、鯛の御利益はちやから御裏を納めるか、退手に帆をあげたりシュラシュシュンんとうだとするとなんと信心家の魚でほあるまいか、瀬くとんで房州は小湊にも鯛にまつはる美しい話がある、小湊は日蓮上人生誕の地、去んぬる七百餘年の昔、ここら一帯の土地にある漁達は花に水の面も見えぬばかりに抛はれ海には鯛が群をなして人を恐れず舳にきく日蓮聖人とはかくぞやあらんと思はれる趣の有難い土地だつたさうで以來小湊の漁夫は鯛の流と名付け一鯛は上人様へ御禮からつかはされたお使ひの明神様ちやとあがめまつり、その地の鯛には指一本ふれぬばかりか漁に出たかへりにはわざ〳〵餌を投じて上人様へのお使ひを歡待するとか、さればこそ鯛の流の鯛は普通のものよりずんと大きく長サ四尺以上、目方は五貫匁を超えるさうであるあるからなると[illegible]に鮮度など[illegible]に出來ませんぞ、元日からお客に行つた家で遠慮もなくお鯛の膳の身をむしるやうでは[illegible]、[illegible]の膳を[illegible]るものと信じられと、アナカシコ、アナカシコ、それから鯛は我が國上古の神話にも合選してゐるから我が國の歷史と共にある鯛[illegible]業深い魚ではある

[illegible]

天照大神の御弟君[illegible]海幸彦[illegible]を[illegible]され[illegible]を釣つたのをことなき恵みとされてゐたが、釣る日も神の[illegible]にて釣りに興ぜられてゐると一天俄にかき曇つて[illegible]命は[illegible]と共に見知らぬ國の海岸に漂着された、そこは今の隠岐の國[illegible]村で當時は未だ海岸だつたさうで命は先づ舳を引き揚げられ釣竿をとつて大地に突きされたが其の釣竿は根をおろして大木となり途には今の宗牙木の森と変り釣竿もまた芽をふいて有名な金縁竹と讃つたと傳へられる、鯛と神様との關係で最も人口に膾炙されてゐるのにエビス様がある、エビス様は事代主命であつてこの神様また出雲の國三穂の浦で鯛を釣られるを樂みとし今に至るも漁業の神様として祀られてゐるが經河史を繙かずともわかる通り太古の狩獵時代から現在の資本時代に及ぶ變遷でエビス様も今ちや一般の財福を授かる神様となつて大黒様と兄弟分の間柄にあられる神、然し抑々は漁業の神様がほんとうで攝津國西ノ宮を本社として各地に分祀され基隆も入船町と濱町の二ヶ所に分祀されてゐる、基隆入船町の[illegible]社は最も漁業者の崇拝するところで毎年六月の初めには御祭があり四月十三日水產デーにも關係者が御詣りして大漁を祈り時として不漁の日が續くと臨時大祭を執行して福徳圓滿なエビス様が善哉々々と申されるのを待つならはしである

×　×

ここで一寸云つておく事は入船町は戎様と書き濱町は惠比須様と書くが別にどつちを書いたからとて御利益に變りはないのださうである、鯛は太古から連綿として日本人にメデタがられて來たがその捕り方も時と共に進んで今では全く機械萬能になつてしまつた基隆近海で長い綱に幾本もぐものの枝綱を付けみんな釣鉤をぶら下げて海中深く沈める俗に延繩と云ふがこんなのは次第にすたれてもつともつと欲張つた方法が行はれてゐる、延繩船に職場を荒される樣になつてゐる、現在基隆を根據とするトロール船四艘、手繰網船三十五組外に十馬力から五馬力位の機船で延繩をやるのが二十艘ばかりある鯛は新鮮な程喜ばれるので氷詰めにして市場に送り小型船では生かしたまゝ持つてかへる方法を用ひてメデタさを最後にもするのに苦心してゐる程だ、トロール船や手繰網船の總漁獲高は年二百四、五十萬もあつてその中鯛は六十萬圓乃至三十萬圓の間を占め基隆を鯛の名所にしてゐるが全盛は大正六年から大正十三年頃迄で「基隆は鯛の町」の一色で塗りつぶし花柳界を賑はしたものだつた

×　×

往年の華やかさは今はないとは云はれるが、それでも基隆の町から鯛をとつてしまふ譯にはゆかない、「赤鯛がとれなけりや駄目だ」と整もきこうと云ふものだ、全く鯛はメデタイものではあるです

市民多年の願望　基隆神社の昇格

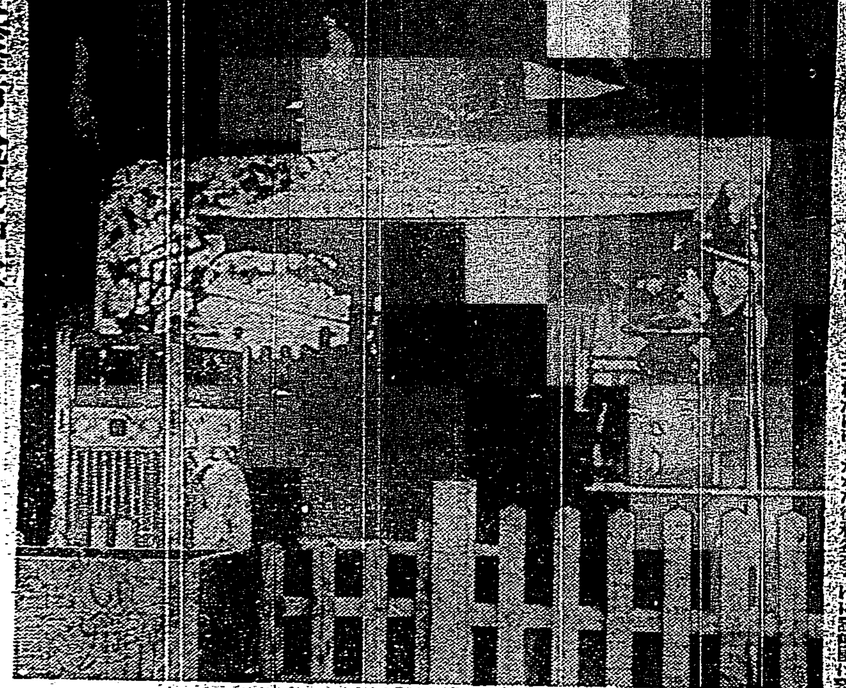
輝かしい春と共に

基隆神社は昭和十一年で鎮座四十一周年を迎へる、一昨年は新殿なつて盛大な地鎮祭が行はれ、十年には御造營なつたを經へて更生し基隆九萬市民の氏神様として何處へ出しても恥しくない質を備へるに至つたが目下氏子總代から縣社昇格に向つて[illegible]運動が行はれてゐるので本年中には其の方も何とか目鼻がつからし市では總督其他の儀式に備へる爲に久寶寺様から山を拓いて自動車道をつくる計畫もたててゐるし昭和十一年に基隆神社はより一層輝やかしい春を迎へる譯である、縣社昇格は市民多年の願望で若實現する事となれば一昨年に劣らぬ盛大な祭りが[illegible]

[illegible]御と云ふ樣な際つた趣向で港基隆の幸先を祝ふ事にもなるだらうさて神社の實について調べてみると非常時局と敬神思想の高潮は著しい神社收入の増加を示し統計の數字は躍進又躍進、その一例をとつて吾等の神社の有難さをみんなと共に喜ばう

▲參拜人員　昭和八年內地人六三九〇〇本島人一〇五〇〇合計七四四〇〇、昭和九年內地人六四四三三本島人一七三八九合計八一八二二、昭和十年內地人七八七五一、本島人三二三六五合計一一〇一一六

▲結婚擧式　昭和[illegible]



基隆市入船戎神社　(基隆要塞司令部檢閱濟)

臺南州協議會員

芝沼榮作　和田二三松　越智寅一　栗山新造　佐藤覺一　中川蕃　村上玉吉

臺南市會議員 (連名)

櫻千佐西川川藤松野林井津久安首川島王王林黃許蔡葉沈劉顏
井　葉藤川中村川　坂　　川　里　上津
　　　　善忠彌　崎新虎戸　代積藤八秀開兆世廷清培廷　子春
　オ由三五永寅　太　　福　千　百太
齊治松郎吉三翠郎三諫一求代章藏郎運麟鴻禎江庭珪榮祥芳

臺灣總督府糖業試驗所長　岡出幸生　臺南

菓子ト牛乳ハ　甘本堂　臺南市錦町一丁目　電話四〇參五番

昭和拾壹年一月一日起特別大廉價　出張撮影　陳寫眞館　電話七貳貳番

明けましてお目出度御座います　臺南市本町二丁目　矢頭商店小賣部　日用雜貨　ヤマヤ店　電話五六番

臺南市錦町三丁目　橋本紙店　電話參參八番
橋本紙店販賣部

个 西陶器店
个 西提灯店
个 西履物店

印刷の御用は　朝日印刷所へ　臺南市錦町二ノ一〇　電話八二八番(呼)

臺南市銀座　文章堂　電話九四五番

臺南市大宮町　田尻履物店

臺南市銀座　中村洋家具店　電話二八五番

醫學博士　大井司　臺南

活版諸印刷　今新盛文印刷所　臺南市西門町　電話九八番

臺南市本町三丁目　澤田洋服店　電話一七九番

綿布 羅紗商　臺南市本町三　八幡商店　電話參五七番

菓子と喫茶　臺南市本町三丁目　トミヤ　電話九七參番

和洋紙類文房具類 活版石版材料一式　臺南市大宮町　電話四參壹番　頌安開進堂　同印刷部

文具商　臺南市白金町二丁目　いろは堂　電話四七四番

東京生そば うどん、丼物　臺南　更科　電話二七八番

有限責任　臺南市白金町四丁目貳拾七、八番地　臺南簡易興產信用組合　電話三二六番

喫茶 洋食 菓子堂　トヨダ喫茶店　臺南市本町三丁目　電話三一七番

レストラン　臺灣樓　臺南銀座　電話六參番

臺南市本町三丁目　㋟ 田中吳服店　電話四五番

永野直　臺南

臺南州協議會員　吳森玉

臺南州協議會員　辛西淮

臺南州協議會員　石秀芳

臺南市錦町一ノ二八　電話五〇八番　株式現物專門　山二商事社

臺南內地人貸座敷組合

謹賀新年　臺南市　合資會社　臺南檢番　電話八六四番 五五一番

嘉義市西門町二丁目　カフエー羽衣 (元太陽改メ)　電話八參四番

嘉義市西門町　潮漢料理　文明樓　蔡郡　電話七〇〇番

鳳山商工會

東港製氷株式會社

東港郡守 谷義廉　東港郡庶務課長 吉見敦男　東港郡警察課長 石井芳松　東港街長 蔡[illegible]　東港街助役 何[illegible]　新園庄長 陳清[illegible]　新園庄助役 手代木[illegible]　萬丹庄長 李開[illegible]　萬丹庄助役 [illegible]　林邊庄長 鄭[illegible]　林邊庄助役 [illegible]　佳冬庄長 蕭恩[illegible]　佳冬庄助役 [illegible]　琉球庄長 宇田[illegible]　琉球庄助役 [illegible]
產業組合協會東港郡分會長 谷義[illegible]　東港信用販賣購買利用組合長 蔡朝[illegible]　新園信用組合長 陳[illegible]　林邊信用販賣組合長 陳林金[illegible]　萬丹信用購買販賣利用組合長 阮朝[illegible]　佳冬信用販賣購買利用組合長 張山[illegible]　佳冬[illegible]組合長 蕭恩[illegible]　佳冬[illegible]組合長 李金[illegible]　溪州信用販賣購買利用組合長 蔡丁[illegible]　琉球信用購買販賣組合長 宇田[illegible]　東港漁業組合長 伍[illegible]　琉球漁業組合長 李[illegible]　佳冬漁業組合長 蕭恩[illegible]

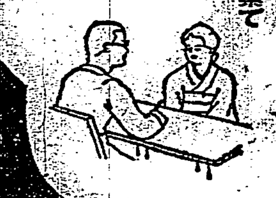
立教大學野球チーム招聘記念

胃腸榮養 わかもと

錠劑

胃腸壁を強化して慢性胃腸病も輕快

病弱體を更生させる細胞賦活作用



強力な活性酵素で常習便秘も消退！

弱い子を丈夫にする錠劑わかもとの發育素

携帯用ポケット錢 五十錢
廿五日量 一圓六十錢

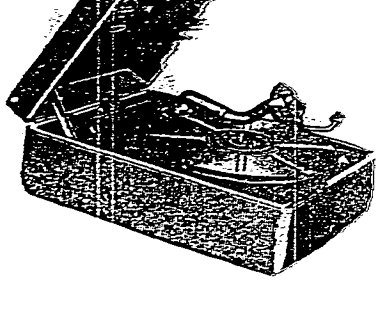
榮養と育兒の會

發賣元・東京・芝公園

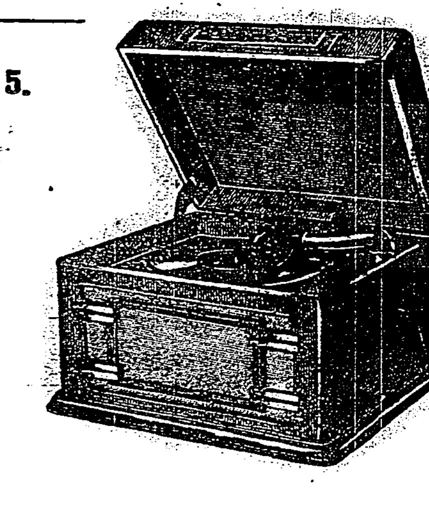
コロムビアレコード

正月新譜より

東京双六　松平晃 ミス・コロムビア
山は初雪　伊藤久男
乙女鳥　ミス・コロムビア
貫一お宮　松平晃 豆千代
興安おろし　音丸
伊太利の庭
長唄 越後獅子
唄 綱館



¥25.



¥45.

第五五　第四五二號

コロムビア蓄音器

宮内省前侍醫 柏村博士創製

ヘルプ

腸胃カタル最良藥

元氣で打て！

胃腸の調子はヘルプで申分ない

ガンバレ！最後まで

腸胃の強壯者は勝つ！

主效
食過 食傷 水あたり 時候あたり 寝冷 冷腹等より起る▲下痢▲腹痛▲吐瀉▲溢り腹▲腹瓦斯を止め▲腸カタル▲胃カタルに良し

全國各藥店に販賣す

ヘルプ定價 二十錢 三十錢 一圓
旅行用ポケット型 五十錢
德用 三圓 六圓

本舗 東京日本橋 津村敬天堂

酒好の夫を持てば
奥さんの氣苦勞は大變

泣き上戸、怒り上戸、くだ卷き上戸、燥ぎ上戸なし酒を飲みながら醉つての癖は十人十色、笑ひ上戸に戸…おん忘年會や交際で遲い歸りの千鳥足、鼻唄まじりのご機嫌も、翌くればつらい二日醉、頭痛鉢巻會社は缺勤。奥さんがたの氣苦勞も並大抵ではありません。併しべれけに醉つて御歸館のその時に『はれやか』一服與へて置けば酒毒は消えて氣分明朗、めまひも頭重も二日醉もたゞそれだけで立派に妨げますから愛酒家の御家庭には是非とも御常備くださいませ。

同じ頭の藥でも

心臓や胃腸を害ふシビレ藥と 頭の榮養劑 はれやかは 斯んなに違ひます！

頭の藥である以上、從來の頭痛藥も「はれやか」も大した違ひなからうと、もし思つておいでの方がありましたら、それは大變な間違ひです。何となれば頭痛藥は大部分心臓と胃腸に由々しい副作用を及ぼす痲痺劑、鎮痛劑が主劑されてゐるのに反し「はれやか」は頭腦榮養素として一番大切な有機化合物カルシウムを根幹とする文字通りの頭の榮養劑だからであります。酒の飲み過ぎによる腦貧血、二日醉も、神經衰弱、癇癪その他仕事のつかれも、頭痛もめまひも原因を探せば腦細胞中の榮養が使ひ果され極度に缺乏してゐる結果であることは最新學說の一致して認めるところであります。從つて此の頭の榮養を何等かの方法で腦へ充分補給してやれば頭腦は生き生きと冴え不快な頭痛もめまひも立ちどころに消えるのに何の不思議がありませう。はれやかは斯うした場合に用ひるのに最も合理的な頭腦榮養劑でその配合有效成分は卵黄の何倍かにあたり效力服用するだけでよく腦の疲勞を回復し記憶力思考力を増進し且つ胃腸をも丈夫にする特效を有して居ります。副作用が危險で常用に非常な不安を伴ふ從來の頭痛藥から見れば頭腦も胃腸もよくする頭の榮養劑へ…藥化學の進歩また目覺ましいものがあるではありませんか。因に効能は…頭痛、めまひ、逆上、二日醉、不眠症、船車醉、神經衰弱、ヒステリー、胃腸障害に効く頭の榮養劑つかれ。

づつう・頭重・二日醉に

はれやか

頭の榮養劑

（全國藥店にあり）
0.30 0.50 1.00 2.00 3.00 5.00

ライオン齒磨

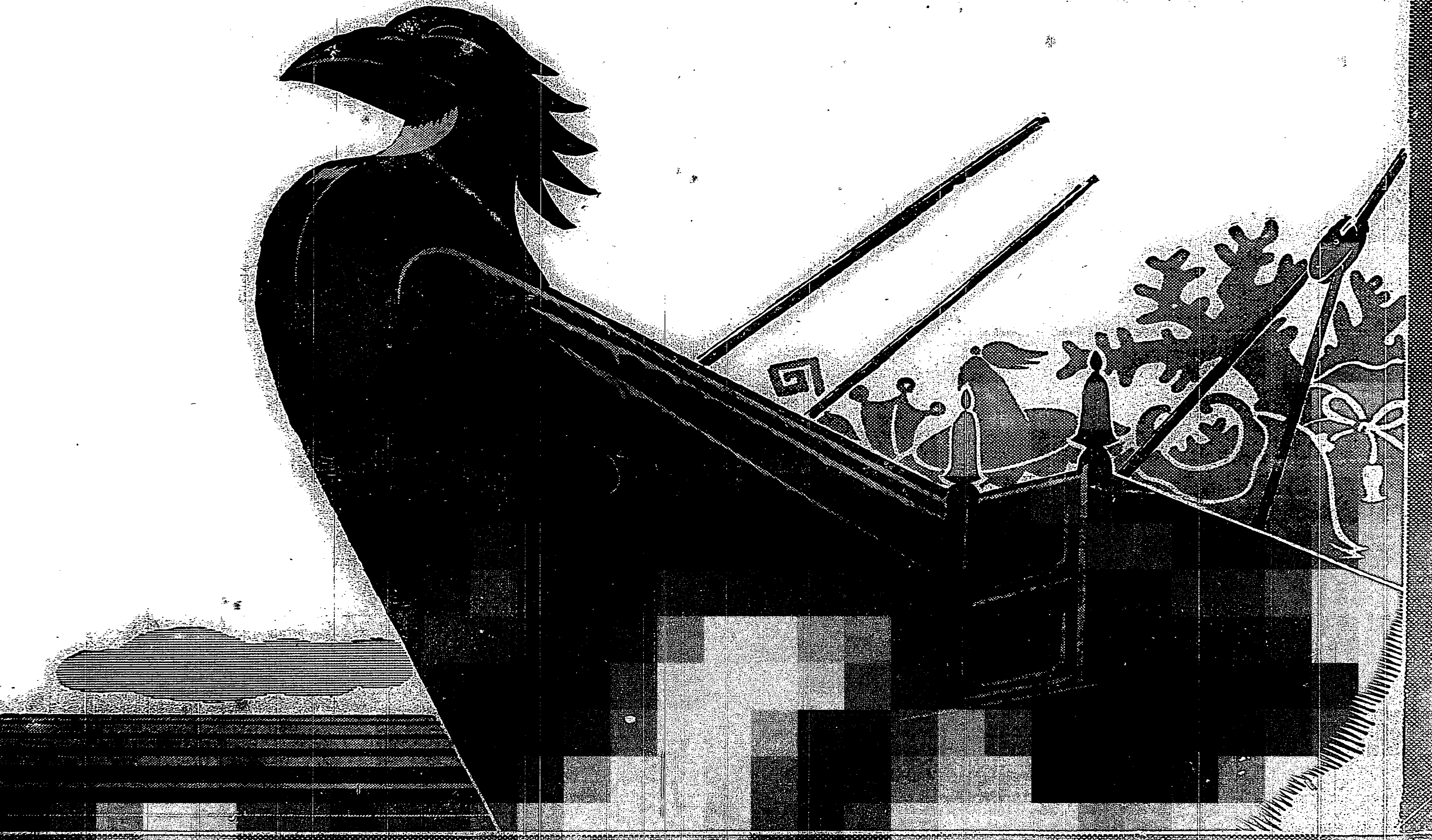
賀正

翶瞰四海に洽く、三元の淑氣相通ずる時、恭しく皇國の進展無疆を祝し、併せて大方の御清福を奉賀候
顧れば、客年中は一方ならざる御同情御支援を辱うし、豫期以上の成績を擧げ得たるもの、偏に御推輓の致す所と奉感謝候
茲に佳晨を迎へて、益、各位の御多幸なる可きを望み、弊社亦只管平素の御盛寵に副ひ奉らん事を誓ひ、謹んで回暦の御挨拶如斯御座候

頓首再拜

昭和十一年元旦

ライオン齒磨本舖
株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋



1-11.1

CBに武運なく 立教に凱歌揚る

四對二、息づまる大接戰に 數千の觀衆ただ恍惚

（先）CB	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
立教	0	2	0	0	0	1	1	0	0	4

立教對CB野球第一回戰は二日午後一時三十分から圓山球場で擧行、立教の先攻、審判は飯島（球）井の邊、川島、永田（壘）の四氏、此日穩天時折細雨を交へて風も冷たい試合はCBナインの燃え上る鬪志と石川投手の好投によつて終始内容的には立教を壓迫して進んだが試合運に惠まれざると後援打者の極めの一手を缺いたため勝運を逸するの結果となつて四對二惜敗に甘んじなければならなかつたCB石川の投球は寺内、景浦、黑田、浦田などの上位打者を迎へ内外角を小さく落ちるひねくれ球で攻めて封じ込め與へたる安打五、四死球三の好投、更に一方打陣は小山有村兩投手から安打十二を伸び壘打十二を記錄したが内容的に勝ちつつ敗れるといふ武運に拙ない試合に終つた、CB攻擊のスタートは好く一回國友右翼二壘打を放ち三好の一打は二間を割つた痛烈な當りで出のとき右翼景浦が好投よくダイレクトで國友を本壘寸前に刺す美技がなければ立教は苦戰を免れ得なかつたかも知れなかつた、二回ラッキーではあつたが松本の内野安打を加へて四本の連續安打が殺したあと無死滿壘香椎國友ともに臭い球に手を出して敢なく凶いたことは惜むべく慎重に出ずべきであつた、二回立教成田が放つた左翼右の一打に對する下村のスタートの拙さと六回立教黑田の三壘正面の飯に對する三好のスタートの不味はそれが西郷、投飛の出進に影響があつただけ愈々敢はれない羽目に陷つたわけである、CBとしては敗れて悔ひなき試合であつた

試合經過

第一回（立教）寺内三振杉田遊ゴロ一失に生きたが景浦二振で二死となり黑田の遊ゴロで杉田二壘に封殺さる（CB）國友右翼越二壘打を放つて出で國く三好の一二間安打で一壘を突いたが黑田の投ゴロで三好一壘封殺田中二飛

第二回（立教）浦田投手石を拔く安打を放つたが西郷の遊ゴロで封殺され成田左翼手右を拔く二壘打を奏げして西郷一塁生還小山二ゴロの間に成田三進も北原の遊ゴロ失で生還北原は寺内の遊ゴロで封殺さる（CB）楠木二ゴロを拔く安打に出で松本遊けたこ［illegible］

第三回（立教）杉田右飛景浦一飛黑田捕邪飛（CB）黑田一飛田中捕飛で二死後楠木左翼線近くに安打したが松本中飛

第四回（立教）浦田三ゴロ西郷捕邪飛成田遊ゴロ（CB）下村左翼に大飛球すれば野手西郷懸命に背走捕近くでよくこれを捕ふる美技を演じ石川遊ゴロ香椎二飛

第五回（立教）投手肩のあたり

	位置	打	安	犧	盜	三	四	殘	失
【立教】									
寺内	78	3	0	0	1	1	1	2	0
杉田	5	4	1	0	0	0	0	1	1
景浦	9	4	1	0	0	1	0	0	0
黑田	3	4	0	0	0	0	0	1	0
浦田	4	3	1	0	0	0	1	1	0
西郷	7	2	0	0	0	0	0	0	0
高野	PH	1	0	0	0	0	0	0	0
平内	8	1	0	0	0	0	0	0	0
成田	2	4	1	0	0	0	0	0	0
小山	1	2	1	0	0	0	0	0	0
田部	PH	0	0	0	0	0	1	0	0
有村	1	1	0	0	0	0	0	0	0
北原	6	1	0	1	0	0	0	0	0
村田	PH	1	0	0	0	1	0	0	0
高田	6	1	0	0	0	1	0	0	0
計		32	5	1	1	4	3	5	1
【CB】									
國友	8	5	1	0	0	1	0	1	0
三好	4	5	1	0	0	1	0	1	1
黑田	6	5	1	0	0	0	0	2	1
田中	2	4	0	0	0	1	1	1	0
楠木	3	5	3	0	0	0	0	1	1
松本	5	4	1	0	0	0	0	1	0
下村	7	3	2	0	0	0	1	2	0
石川	1	4	2	0	0	0	0	2	0
香椎	9	4	1	0	0	1	0	1	0
計		39	12	0	0	4	2	12	3

多き試合、立教としては會心の好投を見逃さず合せて左前安打とし死にかけた寺内が一一試合であつた（續へやら七回）、此の常道のプレーは稱すべき好走好打であつた、者杉田が一二三後石川の投じた好球を見逃さず

第六回（立教）景浦二壘手左を直球で拔く安打に出で黑田の三壘線上バントで二壘に進み寺内四球に出た杉田の三間は松本拾つて直ちに三壘へ走る小山にタッチ、そのまま二壘に好投して杉田を併殺す（CB）國友遊飛三好遊飛黑田二壘手頭上を拔いて右中間を割る二壘打に出でたが田中中飛して空し

第七回（立教）景浦一壘手左を直球で拔く安打に出で黑田の二壘手前緩衝を野手三好失し浦田死球を左手に吹して無死滿壘となり西郷に代るP・H高野中飛して景浦還り、一壘走者黑田其とき二壘を窺つて一壘を大きくリードし中堅手の二壘投球を見て引かへしたが中一遊一二壘にタッチアウト成田投飛（CB）立教西郷退いて寺内左翼となり平内入つて中堅）楠木二間を破る安打に出で石川三間の時香椎中前に安打して下村生還國友遊飛して香椎封殺さる

第八回（立教）小山に代るP・H田部四球を利し北原に代るP・H村田三振に退き寺内の三ゴロで田部封殺されたが寺内二盜に成功し杉田の遊時左前安打で寺内生還杉田二飛（CB）（立教小山、北原退き有村投手、高田遊擊となる）三好二ゴロ黑田投前田中三振

第九回（立教）黑田投前浦田遊飛平内二飛（CB）楠木三壘ベース上を拔く安打に出で松本一邪飛の後下村四球を選び、石川の當り損ねの三ゴロは内野安打となつて滿壘のとき香椎の一ゴロは楠木を本壘に封殺し國友三振して無得

第九回（立教、成田右飛有村一ゴロ高田三振）CB 三好二ゴロ黑田三ゴロ田中内野に出たが楠木右飛試合終了 午後三時十六分

所要時間 一時間四十六分
二壘打 成田（立教）國友（CB）黑田（CB）
併殺 松本—楠木（CB）國友—黑田—三好

連勝の立教と けふ專賣團對戰

一時半から圓山球場で

來征の立教野球團は元旦の對鐵戰に先つ大勝して凱歌を奏し、ついで昨夏の甲子園に奮起したCBを破り破竹の勢を得て三日は殘る只一つのチーム專賣團と對戰することとなり試合は午後一時三十分から圓山球場で開始せられる專賣團は創立未だ年月を經ずと雖も、陣容漸々、CBの古豪に匹敵する實力を有するもの、然も立教に對時して最も期待されるチームで投手田中君はチェインヂ・オブ・ペースに長じ深迫、茅野、高栄、野間口等の中堅打者又侮り難き打力をもち我こそ打倒立教を成就するものたらんと張切つてゐる、立教果して島都球界制覇の願望を遂げるか專賣團よく斯界の名聲を確保するか、專賣團田中投手の心にくき迄に巧妙なる速球緩球のコンビネーションに對して強攻を誇る立教打陣が如何なる程度に打力を發揮するかに依つて試合は如何様にもなろうベンチは立教三壘側、專賣一壘側先攻は立教で審判は球審飯島氏、壘審川島氏、永田氏、田中傳氏の四氏である

寫眞は會場（下）と特等洞口嬢（左）二等加藤君（右）

本社の新春開運福引

十三歲のお孃さんが 特等の簞笥に當籤

山のやうな景品もすつかり飛んで 午後三時目出度く終る

昭和十一年の新春劈頭本社恒例による開運福引は二日午前九時四十分から開始した

定刻　十時といふことであつたが何しろ午前八時頃から年頭のこの開運福引に我こそ幸運をひき當ようと目ざす人々の群が續々とつめかけてやんやの騒ぎで、朝來の霧雨も何のそのと到着順に列をなす、その人列が本社前から公會堂前を通ぎ第一食堂前署前出入口に拔けて更に北白川宮能久親王御銅像之並東側小路を埋め松井呉服店、臺北信用組合間の榮町本通りまで突き拔け文字通り長蛇の列だ、老若男女、續々として屆面ひき當てる—成る程勢つた、明らかなつぶやきだ、とーちや姿は特等を頂戴しませう—若い艶々しい高島田のお孃さんがほんのり顔をあからめての感慨、何と明朗な情景ではないか

一方　本社抽籤場では最幸運者に微笑みかけるが如き特等の簞笥を最高壇に一等の大理石置時計二等の四斗入米俵以下山にす賞品はうず高く積まれて福引つ避れ

—昭和十一年だもの何と言つても今年は、僕が、否妾しが一等を引き當てる—

グラウンド漫景

九回裏CB黑田のバット、CB石川投手の足許に飛びコツン！これのシッペイ返しか高田ストラックアウト「因果應報！」と誰かが叫ぶ

て、特等々々と賑势のよい聲々と割れる樣な笛の音に衆目の注目をひきながら賞品の簞笥と並んで寫眞班のレンズに納まつたかと思ふと十二時半東門町一六二番地新聞の寄沼幸一君の女中さんが二等の米俵をあてていそいそと車に積んで去つて行く姿には

一等　の美麗な大理石置時計がカチカチと正一時半を指して人待ち顔に今に來るべき幸福の持主を待つてゐる更に二等が今一つ！その間三等四等五等がそれぞれ賑かな新春氣分を場内にばらまきながら陸續として幸運者の手に渡され抽籤場はもう雜沓と歡聲の聲で一杯だかくて一等の時計は二時十五分明石町二ノ七加藤進雄君の手に落ちたが同三時全部を終つて目出度く終了した

嘉義の福引

【嘉義電話】本社嘉義取次所では恒例に依り二日午前十時より新春讀者開運福引抽籤を行つたが定刻前より讀者殺到し十一時早くも特等を市役所の鈴木氏が引當て、いやが上にも人氣をあふり賑る盛況裡に午後三時終了した

特等本町二ノ一四四吳碧朋、一等市內消水町胡政秀

特等は齋藤氏

【花蓮港電話】本社支局の新年開運福引は二日午前九時から行つたが當籤者次の如し

特等齋藤富吉、一等田中利、二等長谷川榮、同寺永勝作の諸氏以下略

宜蘭

【宜蘭電話】本社宜蘭取次店に於ける新年開運福引は二日午前十時より開始されたが午前中に一、二、三等の各幸運者は全部

一等は富貴亭

【臺中電話】本社支局の新年開運福引は二日午前十時支局にて行はれたが定刻前より幸運を引當んと續々とつめかけ雑沓を呈した午後三時半迄の當籤者左の諸氏である

一等臺中市新富町二丁目富貴亭、二等曙町一丁目福原勇雄、二等カフエー日活

高雄の福引

【高雄電話】本社高雄取次店の新年開運福引は湊町取次店忠二氏方にて二日午前十時抽籤を合圖に開始したが定刻前より讀者殺到大盛況を呈し午後二時三十分堀江町二ノ二八番曾田官舍戶原良雄君が特等簞笥を引當てて歡聲をあびつつカメラに納まり本福福切までの當籤者次の通りであつた

三等山下町安藤藥局、同旗後町川添氏、同入船町田山泰次郎氏、同港町カフエーチドリ

臺南も盛況

【臺南電話】二日午前十時から恒例による中に長谷支配人前田秘書外本社員一同は南署警察官立會のもとに準備萬端を整へて定刻前二十分押し寄せた樂しみの人々のため音樂吹奏裡に抽籤を開始すればなだれ込む人々は愈々今年の運命をさへ占ふような面持ちで丁寧に福引券は開いては喜び勇んで歸へつて行く、十時半福住町四〇番田正明君が二等で幸運の米俵を引き當て勇ましい鈴の音に群衆はアツと歡喜し活氣付いて間もなく十一時四十分檜山町三ノ一南門小學校六年生の洞口史子（一三）さんが今年の特等を引いて最幸運の人となり簞笥の堅くるしい顔を一杯にくづし

リンドバーク大佐 リバープールに著く

祖國アメリカを脫出して

【リバープール一日發同盟】空の第一人者リンドバーク大佐はアメリカギヤングの脅威を逃れアン夫人を同伴、アメリカン・インポーター號で祖國を脫出し命の途に上つたが、三十一日午前十一時十五分無事リバープール港内グラッドストーン船渠に到着、新聞記者團の包圍攻撃を巧に逃れ自動車に飛び乘り大佐一家は何處ともなく立ち去つた

全臺庭球戰

【嘉義電話】嘉義軟庭協主催の全臺灣軟式庭球選手權大會は二日午前九時より嘉義市コートで行はれ君ヶ代合奏後、優勝カップの返還ある部を終了し午後一時半試合を開始して競技に入り、午後四時終了した、準決りは三日續行の豫定成績左の如し

シングル準決勝

許大會（嘉）4—1張夏帰（南）

張煌武（嘉）4—2吳英圳（嘉）

決勝

張煌武4—1許大會

臺北高校勝つ

【東京一日發】第七回全國高校ホッケー選手權大會第一日は午前十一時十五分より東大グラウンドで第一回戰を擧行し、臺北高校は左の成績で一勝した

臺北高校六（三—〇、三—〇）一成城高校

選拔野球戰

【臺中電話】第四回全島中學選拔野球大會は三、四兩日臺中水源地球場にて行はれるが組合抽籤は二日午後一時臺中放送局に於て左の如く決定した

三日午前十時一回戰（臺中商業對嘉義農）（臺中對北一中）四日正午頃より決勝戰

ひつじ會の神社參拜

臺北未會では新春の初未日である二日午前七時臺灣神社に參集正式參拜をなした參拜者は會員家族を合せ三十餘名に達した同會は明治二十八年生れの人々で組織して

臺北の初荷

田端專賣局長も 法被姿で繰り出す

元日の雨も上つた二日は快晴に恵まれ初荷日和とて朝から各商店は打つて出て賑々しく正午から一六軒の新高製氷、初荷を積んだ自動車を先頭に景氣付けた臺北の初荷は例年の通り商工會の各商店、賣捌所その他の初荷を始め東光石鹼、永製品陳列會社の製品、專賣局の酒などを積んだ自動車で市中を練り臺北專賣局主催の各商店と五日間の公會は今年から新高製氷の手で行ふこととなつてゐる

一つ各小賣人へ配給、共に出荷景氣付けた、初荷は例年の通り臺北専賣支局前でアサヒ酒、ブリジス・レタイヤの初荷が市中を賑はし、大稻埕公司では四日臺灣鐵道ホテルで大稻埕の初荷を東京

英航空會社旅客機 地中海上で墜落

旅客等十餘名遭難か

【倫敦一日發同盟】飛行中のイギリス・インペリアル・エアウエイ會社の旅客機シティ・オブ・カイロ號はサンリソ一〇名を乘せてアレキサンドリアからブリンディシに向ふ途中行方不明となつたがブリ・アント島沖に遭難したとし乘員のみ一名を救助したが乘客は死亡したものと認められる

‟二十萬圓”犯人 二日逮捕さる

墓場に潜伏中を

臺灣米穀代行會社二十萬圓詐欺事件被疑者主犯臺北市日新町一ノ八〇謝根樹（三七）は一日永道町墓地の墓穴内に潜伏中を北署刑事に逮捕された謝は身邊の危險を感ずるや廿四日妻子を殘して家出し以後は友人知人を決して頼らず川端古亭町水道町方面に姿を隱しつつ秘かに大稻埕方面へ高飛せんとはかりつつも株取引が既に二十六日を以て手仕舞になつたと知らず其の成行を待ちつつ前記水道町の墓穴内に身を秘めて居たのであるが一方北署の方では年末前記詐欺の片割れ黃啓堂外一名を新竹州竹南郡後龍庄にて逮捕したが謝の行方は杳として分らず全島に手配すると共に二十七日からは同署刑事は不眠不休の活躍を續けて居るうち去る二十四日家出の後萬華の某家に立ち寄つて電話を掛けた事が判明し其の足取りを追つて彼が臺北市内殊に川端古亭水道町方面に居る事が明かとなつたが彼の逃走振りは極めて巧妙で潜伏の家をつきとめる事が出來ず北署では彼が豫死か縊死か山林潛伏の三方法を選んだものとの見込をつけて其の方面にも力を注いで居るうち三十日三十一日となり年も暮れて一夜明くれば正月元日署としては歲末の鬱祓は當然殘夏なるも正月となれ

觀音山へ初登山

臺灣基督教青年會では、一月三日會員一同觀音山へハイギングを擧行、午前八時半大平町觀音山自動車會社營業所へ參集、バスにて渡船場下まで行き頂上に於て休憩

臺北一中大敗

【大阪二日發本社特電】第十八回全國中等學校ラグビー大會第一次戰第四代表臺北一中對大阪記和代表天理中學の試合は二日午前十一時半から甲子園南運動場で擧行されたが17對〇で臺北一中敗る（主將）田中（鋼）丹羽、小林、開會に臺北一中チームは四日神戸發便船で歸臺する由

初荷に樽酒

【高雄電話】高雄の初荷は二日築荷した專賣局出張所の樽酒を始め日本飲料會社の飲料品其他各商店の樽酒トラック又は牛車數十臺に商標看板を先頭に全市を景氣よく練り廻つた

新春の興行

臺北の演藝各館は一日いづれも開館したが開館館の出し物河部五郎の來演により近來にない賑ひさであつた映畫方面では國際館、臺灣劇館は新編劇、榮座の河部五郎一座は近來の呼び物として其の總覽振りに割れ返る盛況であつた

赤十字病院に 大爆擊を加ふ

伊空軍の大暴狀

【アヂス・アベバ一日發】イタリー空軍の爆擊は卅日西南戰線に出動し、ドロンに於けるスエーデン赤十字病院に大爆撃を加へた爲に同院附近のスエーデン人九名ニチオピア人二十名は慘死し負傷者は百數十名を出したと傳へられる、この暴狀にアヂス・アベバの人心は極度に激昂してゐる

柿沼文明氏

臺灣婦人界主幹柿沼文明氏は一日午後一時廿分死亡、一日突然腦出血に倒れたが昨夏以來旅行中あり八日後四時自宅本町二ノ二八に於て執行の豫定享年四十四

阿部氏逝去

【東京一日發】國民新聞副社長たり且つ貴族院議員として兄弟の如き交はりを結んで來た阿部充家氏は十二年前熊本にかける新聞界の舊き雄であり年に一度の臺灣を訪ね居た所一月四日午前二時に眠る如く逝去した、氏は內鮮人の融和に努力してゐた人である

喜多流の謠初

臺北喜多流謠曲會では三日午前九時から榮町の同會場に於て謠初の式を擧ぐることとなつた番組は鞍馬、東北、高砂、月宮殿、羽衣の五番である

...前もつて外部と連絡を取つた事件の内容に關しては極秘に附しては十萬八千八百八十四に達するものである

二日午後...の所からパンと菓子を持つて來て居た所不審に思ひ...て鎮視して...ひつかけて居た...

◀急なかだち▶
一件一回　二圓
至急募集　五日迄
經理員　給二十五圓以上
電話　讓渡店
株式會社臺灣婦人界社長兼主幹柿沼文明儀一日午後二時臺北醫院に於て病死致候間此段生前の知人各位へ謹告候也
昭和十一年一月三日
臺北市本町三ノ九
臺灣婦人界社
友人　吉田龍則、吉賀千代子、伊澤幸子、田村元、陳清好、黃建四、有馬康代、金子光太郎、近藤大...

恭賀新年
年略儀本紙上を以て年頭の御挨拶申上候小生老軀不束御棟梁の段恐縮の至に不堪併て御詫申上候
在東京　赤石定藏　敬具

合資會社淺沼商會臺北出張所
臺北市京町參丁目壹番地
電話二九二六番

博善株式會社
臺北市表町一ノ三
電話四九二一番

大脇白蟻驅除豫防研究所臺灣支部
臺北市本町三ノ一　電話五四九番
大脇爲德

◉明けまして
御目出度ふ御座ひます
◆四日午前八時より
福袋賣出し……
▲五圓
▲拾圓
▲拾五圓
午勝手御來店の御方様に限り御一人に付一箇宛現金にて御願ひ申します
臺北市本町
一福田吳服店

米大統領智囊寶斯大佐 提唱植民地再分割論
廣田外相議會將言及 歐米各國識者亦多論議

米國當大統領殿臣。寶斯大佐。提唱植民地再分割論。是在於有識者間。頗惹起論議。世界資源之開放。爲國際平和維持新對策。廣田外相。來日議會外交方針演說。亦欲言及資源開放問題。以闡明帝國政府之態度。蓋新興日本之人口膨脹。接近一億。非乃米國。濠洲加奈陀等。堅閉門戶。伯拉爾其他南米諸國。蘭領印度等。亦各制限入國。排斥人之發展。或棲而爲工業立國。以行貿易振興策。則英吉利。其他世界各國。各自利己的見地。肆講防遏手段。本邦如斯見阻。自國民的膨脹必然的要求。最後不得不求自由天地於東亞。廣田外相之此主張。去十一月二十九日。對英軍縮囘答中。既將各國自然的要求。及不可缺之必要。明言十分考慮。爲維持世界平和。而除去障碍之所以。即示世界資源。公平分配之義。此同外交方針演說中。更欲言及。要望世界平和機構再檢討。而此現狀打破之氣運。不特日本。意大利。獨逸亦然。歐洲平和常見威脅。如斯情勢。歐米各國識者之間。漸論議英米法佛等。植民地過大。宜分配於新興國。究我提唱之實現。即新平和機構之建成。所堪注目云。

內臺間連絡定期航空 旅客輸送新春開始
途中不遇低氣壓一路平順

福岡二日電。鹿屋。那霸。臺北間。六百基羅。商業航空。即內臺間連絡定期航空。昨年十月八日開始以來。郵便物試驗飛行。日已過。新自一日。開始旅客輸送。其就航之第一機。爲日本空輸之「雲雀」F七型三M八人乘旅客機「八ヤブサ」號。片道料金百十圓。乘客爲電通宮本。同盟大兵兩記者。其他臺灣行航空郵便四百通。那霸行百通。年賀狀百通。小包十五個。及永江輸日社長。秋山川畫伯[illegible]明。詳細檢點後。理縱士豐島兒。齊藤航空士。森通信士乘組。萬般準備成。途中別無低氣壓。歡呼波湧。午前七時多數送行。萬歲聲裡。即衝曉雲。爆音宏哦。離陸而去。先向鹿屋。

已自鹿兒島 望那霸去

福岡二日電。內臺飛行空輸機。途中登天無風。頗爲好飛翔。在鹿兒島。鹿屋飛行場。以爲不必給油。一路仍飛鹿兒島西海岸。

益田畫伯陪觀九州大操 恭寫御統裁御英姿
爲同鄉財部大將所推薦

東京三十一日電。昭和十年度陸軍特別大演習。大元帥陛下御統裁。去十一月九日起四日間。在南九州之山野舉行。當是時特許陪觀之益田角城畫伯。以其彩筆。恭寫御統裁御英姿於後世。故推薦之。迄經宮崎縣。委之大將。及其同鄉出身之玉城畫伯。畫伯感激光榮。十一月七日夜赴鹿兒島。翌八日午後零時三十分。拜觀御艦比叡錦江灣入港。大元帥陛下御上陸。及在各御野立所御親裁御統監。並觀兵式諸兵御親閱御英姿等。即辭去宮崎地方行幸告終。十八日。乃發鹿兒島歸京。爾來於豐島區雜司谷私邸。留心整理。並擬齋戒沐浴。恭寫本紙以大幅卷。幅卷濶一尺五寸。長三十尺。用鳥子紙。場面三十餘。極施彩色。納盡十一年。可以完成。納諸宮崎縣云。

皇室(二)

秩父宮雍仁親王殿下　大正天皇第二皇男子。明治三十五年六月二十五日御誕生。初稱淳宮。大正十一年六月二十五日御成年。賜稱秩父宮。同十四年御渡歐。同十五年入英國牛津大學。昭和二年御歸朝。同六年十一月。以優秀成績。御卒業陸軍大學校。現爲陸軍步兵少佐補弘前步兵第三十一聯隊大隊長。殿下深解體育競技。且稱熟於華道。然公私多忙。在學陸軍大學校時。恆晨夜半三時頃。自行勉強。而已事概親操作。時或嶽衣。非常人所能及。嘗於炎夏。親臨京都府下。見學工兵隊架橋工事。數日間與兵卒同辛苦。赤坂新御殿成。閱御居室。見暖房裝置。乃諭左右曰。明治天皇。日俄戰役當時。寶算雖高。未嘗用之。矧如我等之壯者乎。立命撤去云。

秩父宮雍仁親王妃勢津子殿下　松平保男子爵姪女。現駐英大使松平恆雄氏長女。明治四十二年九月九日。生於倫敦郊外。少學於女子學習院。又學於華府。而在歸朝。昭和三年九月二十八日御成婚。與宮殿下。相敬如賓。見殿下入書齋。則在小室讀書。有事直伺候。或自奈茶以進。同六年八月間。殿下親臨京都。適亦西下。二日正午。御成宇治平等寺。登宇治川堤上。遙望中洲。有兵演習架橋。一武官。報告曰。連日酷暑。殿下極健勝。方在天幕前。熱心見學。妃殿下聞之。遂望英姿。不勝起敬。而究數日間至不相見。妃殿下以金枝玉葉之身。而能勵精事務如是云。

高松宮宣仁親王殿下　大正天皇第三皇男子。明治三十八年一月三日御誕生。初稱光宮。大正二年七月六日。賜高松宮御稱號。同十三年七月。以拔群好成績。卒業海軍兵學校。昭和五年四月。與妃殿下渡歐米。歷訪各國。同六年六月歸朝。尊晉海軍大尉。爲扶桑分隊長。初臨英國。且謁英帝。先一日宮廷有使者。來語殿下日。明日宮中發馬車出迎。顧照英皇室禮。殿下左。妃殿下右。殿下立告之日。余此行爲日本天皇陛下御名代。來謁英國皇帝陛下。貴國有貴國儀禮。我日本皇室亦有儀禮。余當然照日本皇室儀禮。不便報自左右。返如所言。數日後倫敦市長招宴。殿下自居左。使妃殿下居右。一國員疑而問焉。殿下徐笑並之日。前爲御名代。今爲一皇族。從英儀禮。不亦宜乎。事關皇室。愼重不苟。英廷亦敬服云。

高松宮宣仁親王妃喜久子殿下　故德川慶久公爵第二女。明治四十四年十二月二十六日御誕生。昭和四年春。成績優等。卒業女子學習院本科。同五年二月四日御成婚。妃殿下。與宮殿下。乘鹿島丸渡歐之際。船中人。竊有疑妃殿下弱者。及船過印度洋。船客皆閉室安息。方是時。獨上甲板。台覽狂浪者。爲妃殿下。船員不覺驚歎云。

三笠宮崇仁親王殿下　大正天皇第四皇男子。大正四年十二月二日御誕生。初稱澄宮。昭和七年春入陸軍士官學校。同九年三月。卒業。爲士官候補生。入習志野騎兵第十五聯隊。同十年十二月二日。御成年式。賜稱三笠宮。幼善騎馬。長善馬術。初入聯隊勤務。以一上等兵資格。與普通兵士。同食四六分麥飯。比入大學校。當校。國語科擔任友田宜剛教授。在教室出題「新生活」。殿下直書二美濃紙提出。先述入士官學校之喜。次言入學習院初等科時。尚不知字母。而卒有今日者。皆諸先生。十年如一日。教導之所賜。友田教授。不覺感激。以爲模範文。學習院在學中。示豫科生三百數十名。稱御用自動車運轉手。運轉途中。驟遭腦溢血卒倒。殿下深爲關心。特遣御用掛。到家存問。聞其訃也。更賜祭粢。[illegible]

三年有成
康德丙子元旦
張景惠

任廣西兩雄 爲西南剿匪 正副司令

南京三十一日電。行政院三十一日最後會議。任命廣西省權者李宗仁氏。爲湖南。廣西。貴州邊區剿匪總司令。白崇禧氏。爲同副司令云。

南京須磨總領事入京 訂日會外相進言 而後帶新方針歸任

東京三十一日電。南京總領事須磨彌吉郎氏。三十一日午後三時二十五分。乘富士號到東京驛入京。訂來四日。與廣田外相會見。將舉生排日運動。行政院改組後。國民政府對日外交方針。及對華北問題之對策等。詳細報告後。進言今後對華政策。又豫定約三週間滯京。與關係各方面折衝。而後帶外相新方針。首途歸任云。

嘉義市官民 慶祝元旦

嘉義市昭和十一年元旦。午前八時。市內各官衙舉式祝賀。同十時市役所主催。官民合同。在市公會堂後庭。開祝賀會。與會者二千二百餘名。刻到列同向宮城遙拜。次[illegible]

輸出入稅 未使實施 財政部發表

南京三十一日電。武傳輸出稅。及轉口稅減免。並爲補填。而將輸入稅加昇。自明年一月一日實施之說。國民政府財政部當局。則稱準備不足。實行不能。

臺灣冷凍工業 會社成立

臺灣冷凍工業株式會社。宜蘭街張振茂氏外數名。組織臺灣冷凍工業株式會社。鑑於臺灣地處熱帶。亞熱帶。欲謀冷凍機械之普及。供給優良冷藏。將長谷川鐵工所所製作之製冰。冷房。冷藏。冷凍其他冷凍機械。代爲販賣。並於全島各地。設直營營業所。張振茂氏爲常務取締役。事務所設於臺北市太平町三丁目云。

澎湖寶庫珊瑚林 須官民協力開拓
豫想產額一千萬圓

世界唯一珊瑚漁場。一時大博名聲之基隆珊瑚漁場。因過于濫獲。故不出數年。漁場荒廢。當初之產額。年有百萬圓。而最近僅十數萬圓程度。迫至一昨年秋。澎湖南方之尋線附近。于鋼魚延繩從業者。羅獲小枝珊瑚。由是得動機于昭和十年初夏間。由澎湖廳試驗船。眞榮試驗結果。藉知爲有望珊瑚漁場。自六月中旬。至七月下旬一月餘。更借民間漁船相協力。詳細調查結果。始悉該漁場價值。優過往年漸々頃得名聲之基隆漁場其豫想生產額。多應有一千萬圓。國海之澎湖。名實俱擁水產寶庫。由此試驗結果良好。遂于昭和十年七月下旬。對漁船三十隻正式下附採取許可。而能得此效果者。乃廳當局之苦心。殊如廳水產係長三田村技手以下。廳試驗船指導主任高梨技手以外船員等之勞苦。實有足嘉者。將來不失爲澎湖水產史之犧牲記錄。如是藉此珊瑚更生之澎湖。當以珊瑚。景氣大起色也。又澎湖珊瑚種類。以桃色珊瑚居多。至于品質斷然優秀。無出其右者。前年八月中旬。同廳水產會。始于媽宮。開設珊瑚市場。全國有數仲買人。四十名參加。四日間賣出十二萬餘圓。又于十一月初旬。更開第二回珊瑚市賣出七萬餘圓。總計約二十萬圓。此四ヶ月間。漁船一隻平均漁獲額約一萬圓。其中漁獲二萬圓以上者。亦有三四隻。皆得莫大利益。故本年膨湖。亦將爲積極的開拓。然此須由澎湖官民一更加一層努力。協力一致相結束。極力開拓寶庫。使澎湖由是而進于更生途上也。

海上雲遠
臺北市　加藤紫軒

元旦書懷

神祕國雜議(貳)
續

▲種族政治軍備　神祕國禁衞軍。是唯一新式隊伍。其力約在二千五百人。至三萬之間。自一九二九年以來。此禁衞軍。由比利時及瑞典軍官訓練。穿著制服。赤著足。荷帶新式軍器。依照軍事學操演。說是勁旅。非至緊要關頭。皇帝不願把他開赴前敵。禁衞軍之外。還有皇帝自己指揮之皇軍。是他轄境內武裝臣民編成者。今皇帝轄下。包括哈拉爾。胡洛。及沙亞三省。並且執行設置。皇軍人數沒有確實統計。大抵在五萬人。至十萬人之間。此種軍隊。在別國。只能算做雜色軍。至多不出二十五萬人。又國中軍隊。亦難於統計。一大概有各式步槍五六十萬支。機關槍數百架。大砲數十尊。所謂大砲。大概也只是博物院裡陳列品。雖有幾架飛機。但不能爲作戰之用。瓦斯設備。坦克車隊。以及現代戰之種々利器。當然是沒有也。神國軍隊之出軍。不須多帶糧食。隨地可以就食。其業務在於防禦。不事侵略。得勝便憂然而止。

▲人情風俗一斑　國內富者。多游手好閑。不喜勞動。就中九以其基督教徒爲甚。除司祭作官外。別無其他生活能力。只同教徒。較彼等聰明。還能於國家每年所輸出千萬圓商品中。(商品多係象牙。珈琲。蠟。皮革。棉皮等類)取得若干費。神國至國國民。對於金幣不但沒有用過。並且從未見過。其所通用貨幣。只有一種大形銀幣。盾上鐫著遠古時代女皇肖像。外神國人。敬練子弟。成爲勇士方法。有一種火灸習慣。其法。係以燒燃的草束或木片。使青年男子赤手捏持。能經長時間。不變色呼痛。若行所無事然。即成爲英雄。又他常喜食半熟不潔之肉。因此罹蠱病。殆成爲一種國民病。甚至以不有蛔虫爲恥辱。國人殘忍性。於致現天花痘症時候。即可證明。他們見天花痘病人。立即將其幽閉室中。縱火燒。室外並有多人。執矛環立。以防病人逃出。對戰敗俘虜。常喜割其生殖器。懸之自己腰間。又雖屬同一黑色種。亦有二種。喜將敵人頭骨截下。懸之腰間。此外尙有一種最殘忍習慣。即三種族間。舉行合宴。宴時。例食牛燒之肉。食法即牽一活牛至客室。於客的眼前。初斷其頭。繼切其肉。血液淋漓滴地。於客前炮燒。此種習慣。自古迄今。仍盛行不改(未完)

信組理事就任

員林郡員林信用購買販賣利用組合理事邱東才氏。自就任理事以來。已閱十數年。近因其事業繁多。已表出辭意。去十二月三十日始許其退。現就辭任登記手續中。

前年中羅東郡下 農商工交通業情勢
(上)各街庄概順調發展

最近羅東街躍進的之發展。屬于開拓山場。及充實工業都市施設。然昭和十年中。羅東郡下產業狀況。比例年。因各種物價昂騰。並充實交通網。好影響農村。又諸製品。更擴張販路。于內地。滿洲。中國及南洋方面。各工場。均景氣活況。其他。客年中重要生產物總額。達千五百餘萬圓之多。比前年。增加三成。其中農產額有三百五十萬餘圓。畜產五十二萬餘圓。林產百十四萬餘圓。水產四萬七千餘圓。工產六百十四萬餘圓。農業方面。農戶爲數。四千百六十餘戶。占同郡下。總戶數之分之四。田園面積。萬千八十四甲。第一期及第二期水稻。因氣候順調。收穫額。得十八萬二百四十石。金額達三百六十五萬六千八百圓。比客年。增萬餘石。金額增四十餘萬圓。重以米質良好。本年檢查所之合格米。比客年。增有四成。爲自昭和二年來。未曾有之佳績。其次則蔗作八百十餘甲。收穫六千七百四十餘萬斤。金額二十一萬七千餘圓。蔬菜方面。雖客年九月。遭暴風雨。菜苗多少被害。然收成三十四萬餘圓。果實亦有六千餘圓。特種農業。有苧蔴。苧麻。然苧蔴。品質色澤俱好。稱得全島優良品。栽培面積。百六十餘甲。督府爲水稻代作以獎勵金。獎勵農家栽培最近價格昂騰。栽培熱旺盛。每甲收成。得二千六百餘斤。總收穫額。四十三萬五千餘斤。百斤三十五圓。計得十五萬二千餘圓。若對加工方面改善。及擴張販路。將來頗有厚望。大宗煙葉耕作者。有三百九十餘人。耕作面積二千九甲餘。而永定種收量九萬二千百八十四斤。松陽種萬四百三十斤。其收金額。四萬二千餘圓。又宜蘭及蘇澳方面。因土地及氣候不適。經自昭和四年。廢止栽培。本年擬對羅東郡利澤簡方面。擴張十餘甲。栽種松陽種。(未完)

蘇澳鄉軍宣傳 節約煙酒 以强國防

帝國在鄉軍人蘇澳分會。以現下帝國內外情勢。凡中堅國民。務宜奉體聖諭。堅守鄉軍自使命。實行左記宣言。務揚國威。努力盡忠至誠。以全本分。一。國體觀念明徵徹底。二。國防觀念強化。三。非常能力超練。外。印刷一種宣傳單。於元旦撒布。內外方註世界情勢急迫。軍縮會議暗淡。時局非常。宜一致團結。奉體聖諭。帝國々防第一線。一衣帶水之南華。飛機猶航之比島。南方鎖鑰。厥在我臺。務須會迎堅守非常時代我等之臺灣。務愿我等之腕。緊張節約煙酒。以强國防云。

國際館開館 會衆數百

臺北土木包辦業者數名。投下三十餘萬圓資資。買收西門市場西一丁目。卽西門市場西之地。建築純洋式三層館。竣工[illegible]居樓。映畫館。其設備稱全島一。國際映畫株式會社[illegible]十一日[illegible]來賓有[illegible]川文教局長[illegible]會長其他[illegible]名列席。[illegible]

勸善講演
埔里社會敎化

埔里街役場主催。敎化團體埔里社會敎化向上。爲此特聘請竹山郡劉萬章氏來。自去二十七日午後七時起。在青年會館。開勸善講演會。以生活改善爲題。連講三天。每夜聽衆甚是盛會。聞自一日起約半月間。欲巡廻各部落云。

本社讀者 開運福籤 幸運者續出

本社讀者福籤。去二十[illegible]在本社營業部[illegible]以下各等[illegible]番號多[illegible]

海上雲遠
臺北市　加藤紫軒

來賓。至午後三時。始略舉。就中特等至二等。當籤者如左。

特等　樺山町三二　洞口史子
一等　明石町二丁目七　加藤道雄
二等　東門町一六二　青沼幸一
二等　福住町四〇　春田正明

員林郡坡心庄 助役任命

員林郡坡心庄。自去年五月賀氏承故黃婆忠氏之後。任坡心庄長以來。助役即缺員未補。客臘二十六日附起用前督府鑛務課技手。即故黃婆忠氏之弟黃錦保氏。而黃氏爲家事上。以名義助役就任。

旭旗翩翻門松聳翠 往來士女皆是嬉春
臺北新年極形熱鬧

本年天候。自客臘中旬。即連續降雨十數天。元旦初猶小雨。未幾放晴。過午闔旭富宏。氣候溫暖。路上紅男綠女。往來嬉春。家々旭旗翩翻。門松聳翠。本島人亦多迎年。陳列年花、春酒介壽。萬里同迎。各劇場。[illegible]排出極其熱鬧。圓山一帶。遊人如鯽。車水馬龍。大有昇平景象。二日陰雨間歇而來。却不甚寒冷。有初荷式。貨物數車。巡行市內。本社前讀者開運大福籤抽籤。終日抽籤者數萬名。熱鬧而三。新春景氣。更不寂寞。

鹿港分室 事務移轉

當地分室。自改築以來。工事頗爲順調。行將竣工。去三十日。爲事務便宜計。先將分室及鹿港派出所一切事務。移入新廳舍辦理云。

春鳥暢歡情
朴子街　莊雲從氏書

海上雲遠
莊玉波

乳邊興雲海上橫。波無搖處聖人生。神仙彩路三山美。太史書五色明。布偏。象追々隨浪浩。從龍族々接天淸。妖氛不到扶桑國。歌吹臨汾樂太平。

○同上

黑白正紛爭。烽煙感未平。管他紅海念。歡聽鳳雛聲。

○蘇鴻飛

一抹扶桑外。沙婆海上遙。捲舒淸曉靄。點綴映春潮。有意從龍去。無心出岫飄。看他生瑞彩。豫卜太平朝。

○張奇生

極目茫茫裡。朝暾出海天。遠雲堆白練。萬派匯深淵。內水逐來繞。非煙絜禁纏。恩波敷宇內。浩蕩感無邊。

○林江淸

浩渺連天碧。三陽迎旺觀。霞光浮紫靄。祥翻映龍蟠。瑞繞峰千仞。祥呈靄一團。

○鄒子襄

中流多砥柱。鴻々展安瀾。紛々齊出岫。郁々互天深。景向崑岡幻。光承御苑吟。浮城疑海市。駕鶴看仙臨。

○林劍濤

瑞靄迎空碧。常懸捧日心。萬頃浴滄來。白雲隨處起。若煙勢自造。散彩光非逼。伴鶴倚蟬宮。從龍擴辰市。波浩浩瀉間。蔦瑞成千里。

○陳瑞昌

扶桑新旭上。四海霧煙平。水濶滄溟大。天晴玉鏡明。恩波萬里。飛蟬散無聲。絕好蓬萊景。雲遮太液淸。

○黃一峰

激淸濤海國。瑞氣繞扶桑。風靜雲千里。波平水一方。山川舒錦秀。鵬鷟自翱翔。舟楫行無極。賡歌帝澤長。

○楊天嘯

片々垂天邊。冰浮線外揚。從風園海國。捧日上扶桑。五彩芬皇治。淸光表世昌。氣紙昭向庶。瑞集六呈祥。

元旦書懷
○黃雨鶴

春去春來五回。同々生面筆端開。[illegible]中文酒[illegible]

小說
偵探案(三)
新式科學的搜查(六)
殺死強姦又掠財(一)

長崎縣下漁村。漁人中村[illegible]妻。名茂子。年三十。姿首[illegible]美。在漁村中。亦算是第[illegible]美人。中村因年來豐漁。甚[illegible]積蓄。遂多造漁船。新式漁[illegible]應有盡有。其所傭人員。亦[illegible]甚大。且有發動機船。[illegible]黃浦近海網魚。中村亦常在[illegible]中。指揮監督。[illegible]大漁業。而旁爲傭人群居。[illegible]爲家族所居。茂子雖與中村[illegible]婚。經過十年。膝下尙無男[illegible]

[illegible]

會事

▲大同促進會臺北第一支部。二日午後四時。在有明町支部事務所。開支部總會。會員二百餘名中。出席者百餘名。有報告及協議事項。

廣告
高產婦人科醫院
臺北永樂町[illegible]